

第2回 水辺とまちのソーシャルデザイン懇談会 次第

日時：平成26年1月16日（木）10:00～12:00

場所：公益財団法人リバーフロント研究所AB会議室

【議 事】

1. 第1回懇談会の議事概要について
2. 事例紹介
 - ①井出コメンテーター
 - ②紫牟田コメンテーター
 - ③中島コメンテーター
3. 意見交換
4. その他

【資料目次】

- ・ 議事次第
- ・ コメンテーターリスト
- ・ 席次表
- ・ 資料1「第1回懇談会議事概要」
- ・ 資料2「事例紹介資料」
- ・ 資料3「議論のたたき台」
- ・ 資料4「スケジュール案」
- ・ 参考資料1「参考データ」
- ・ 参考資料2「日本の水辺と世界の水辺（第1回懇談会配布）」

「水辺とまちのソーシャルデザイン懇談会」
 コメンテーターリスト

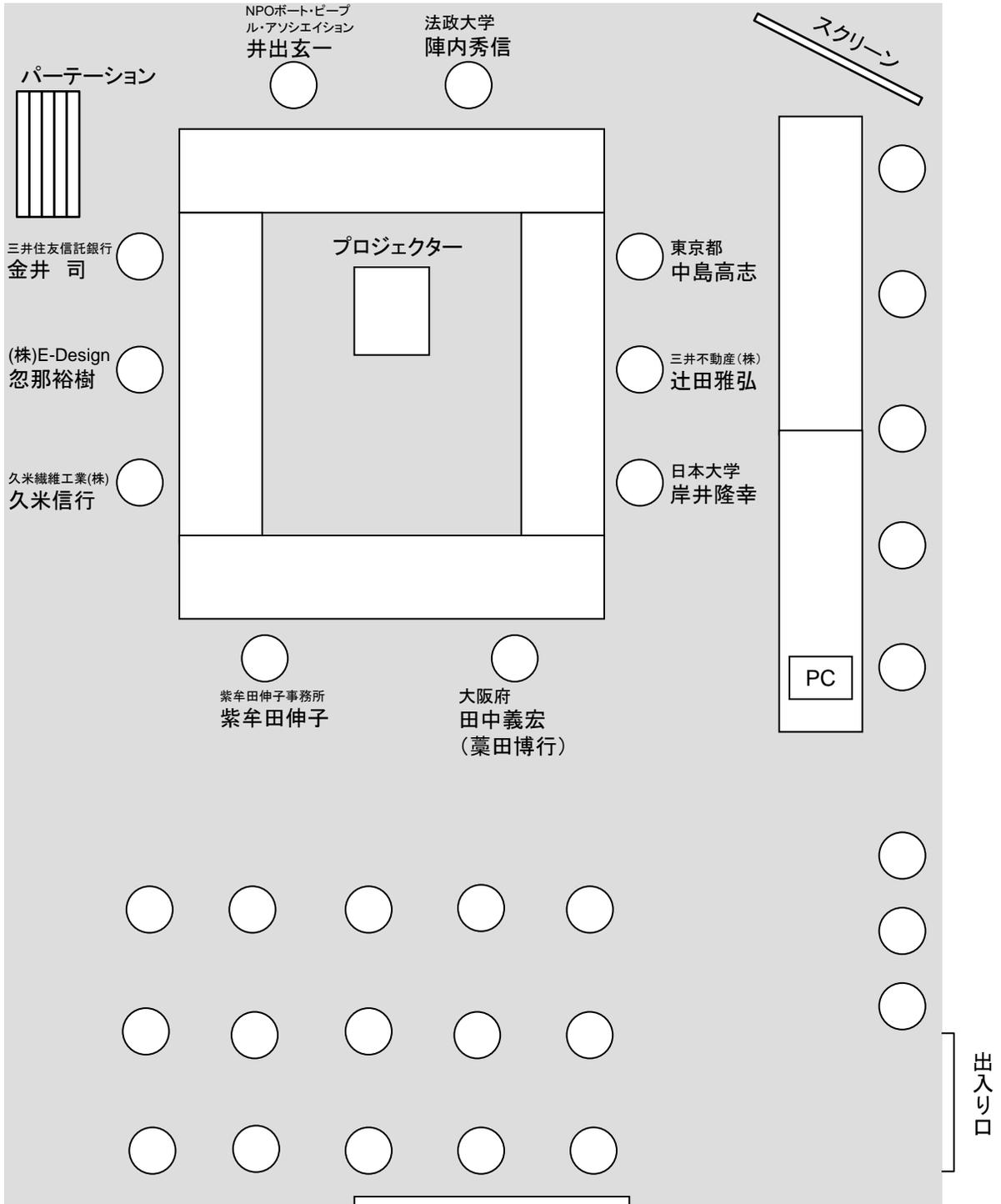
(敬称略・50音順)

	氏名	所属	第2回出欠
座長	陣内 秀信 <small>じんない ひでのぶ</small>	法政大学デザイン工学部建築学科教授	○
コメンテーター	井出 玄一 <small>いで げんいち</small>	一般社団法人ボート・ピープル・アソシエーション代表理事	○
〃	伊藤 香織 <small>いとう かおり</small>	東京理科大学理工学部建築学科准教授	×
〃	金井 つかさ <small>かない つかさ</small>	三井住友信託銀行株式会社理事・CSR担当部長	○
〃	岸井 隆幸 <small>きしい たかゆき</small>	日本大学理工学部土木工学科教授	○ (11時～)
〃	忽那 裕樹 <small>くつな ひろき</small>	株式会社E-design 代表取締役	○
〃	久米 信行 <small>くめ のぶゆき</small>	久米繊維工業株式会社取締役会長	○
〃	紫牟田 伸子 <small>しむた のぶこ</small>	紫牟田伸子事務所代表	○
〃	田中 義宏 <small>たなか よしひろ</small>	大阪府都市整備部技監	○ (代理：栗田博行)
〃	辻田 昌弘 <small>つじた まさひろ</small>	三井不動産株式会社S&E総合研究所長	○
〃	遠山 正道 <small>とおよま まさみち</small>	株式会社スマイルズ代表取締役社長	×
〃	中島 高志 <small>なかじま たかし</small>	東京都建設局河川部長	○

第2回 水辺とまちのソーシャルデザイン懇談会 席次

日時:平成26年1月16日 (木) 10:00~12:00

場所:公益財団法人リバーフロント研究所AB会議室



第 1 回水辺とまちのソーシャルデザイン懇談会 議事概要

1. 日時：平成 25 年 12 月 27 日（金）13:00～15:00

2. 場所：災害対策支援船「あらかわ号」

3. 出席者：別紙

4. 議事の内容

(1) 船上視察

① 河川環境課長挨拶

② 二天門船着場から浜離宮まで隅田川を船上視察

(2) 趣旨説明

・事務局より懇談会の趣旨説明を行うとともに「水辺とまちの未来創造プロジェクト」の各取組みについて説明。

(3) コメンテーター自己紹介

〇〇：これまで東京の川を見てきた。品川・芝浦は土地利用が変化しているが、隅田川・神田川は意外に時がとまっている状態。イベントや舟運などソフト面はよくなってきたが、事業部門はあまり参加していない。また、問題は民間企業が参加しなかったことで、これは大阪と異なる。川とまちを結びつけるというコンセプトは重要である。大阪の水辺には色気がある。

〇〇：都市の水辺、都市の水辺に新しい水上経験をつくる、ということに着目して活動している。元々個人的に水辺や船に興味があるところから始まっているが、個人の楽しみと行政の管理にコンフリクトがあると考え。東京の都心の水辺は世界で最も面白い場所で、ポテンシャルが高いと考える。

〇〇：シビックプライド研究会や東京ピクニッククラブなどで、ウォーターフロントの陸側で活動をしている。公共空間やそこでの出来事のデザインは、都市に受け入れられていると感じられるかどうかを大きく左右する。公共空間を手がかりにまちに関わることができれば、まちに対する誇りが醸成される。都市のウェルカム感の表現も大事だろう。公共空間のような「みんなのもの」は、「自分のもの」でないと捉えられ、結局「誰のものでもなく」なりがち。しかし、ユーザの手に

公共空間を取り戻したい。大阪では使いながら水辺を変えつつあり、少々うらやましく感じる。東京の公共空間を水辺から変えていくきっかけになれば嬉しい。

- 〇〇：一般的に事業が投融資の対象になるにはキャッシュフローが確保されているかどうかのポイント。再生可能エネルギーの全量買い取り制度が導入され、誰も見向きもしなかった土地ほどメガソーラーの立地に適しているため突然キャッシュフローを生み出すようになったように、打つ政策次第では無から有が生まれることもある。既存の建築物が立ち並ぶ都市の水辺の再構築には、キャッシュフローを向上させるためのリノベーションがポイントになると思うが、不動産と金融と言う視点からアイデアも出していきたい。
- 〇〇：行政内では、一方でやれそうな流れになっても、もう一方で反対されて実現しないことがよくある。熊本でうまくいった事例があるが、河川、道路、再開発、全て同じ事務所から発注されるというのが大事。また、中央と現場との感覚にずれがあるので、そこを乗り越えてほしい。
- 〇〇：まちを使いこなして楽しみ方を共有すること、その舞台となる環境の形成、そして、それを支える仕組みづくりが必要である。また、そのプロセスに関われることが、まちに誇りを持つことに重要な視点である。水都大阪では民間の提案から実現に結びつけていくという流れを今年から作っている。また、「川を表側にしていく」「水辺からまち全体を使いこなす」「各種事業を協働する」「活動を支えるサポーターの教育を行う」「イベントから日常に広めていく」「府、市、民間、ひとつになってやっていく」「水辺に接した空いている土地を最大限利用する」などの考えで提案をしている。
- 〇〇：川は右岸左岸や橋の東西で違う文化をつくっているのが面白い。お金を使わないでどうやってファンドレイジングしながら面白い事をやるかに関心を持っている。四万十川の砂浜美術館を参考に隅田川河口でやりたいと考えている。ファミリーがくるような仕組みづくりが重要。自転車で川を走るときに、行きか帰りのどちらかを船で運んでくれるようになると利用が高まると思う。川から生活が見えるようになると面白い。川沿いに（生活に密着した）マーケットができないかと考える。日本財団 CANPAN (NPO の情報ネットワーク) の理事などもやっており、様々な橋渡しをする役割と考えている。
- 〇〇：企業や地域のモノづくり、誇りをどのように作っていくか、ということに関わってきたが、まちづくりの活動も広がってきた。デザインを受け取る側がいつ、どのように、どうやって受け取るかが重要と考える。いかにまちづくりの計画を地域に伝えていくか。日々目にしているものと記憶とをどのようにつなげてアプロ

ーチしていくかに興味がある。隅田川は色々なバリエーションを楽しめる川なので、それをつなぎながらどうやって伝えていくか楽しみに思っている。また、人に伝えるときにモデル事業がすごく重要。

- 〇〇：水都大阪系の仕事をしている。道頓堀に長く携わっており、「新しいこと、とんでもないことをやりたい」という想いはある。場所により分けて考える必要があると考えており、都市では、民間参入と持続可能な仕組みづくりが必要と考える。色々な取組みを行おうとすると役所的にはどこが何を負担するかなどで問題になることもある。
- 〇〇：諸外国だと船が通勤手段など日常生活にとけ込んでいる。また、オリンピックは海辺に施設があり、地下鉄の延伸や橋を架けるなどの話もありお金や時間もかかると考えられるが、それらと並行して、水運に光を当てて考える必要があるという問題意識を持っている。
- 〇〇：河川は安全第一が使命であるが、貴重なオープンスペースでありうまく活用していきたい。日常的空間と非日常的空間の2つの側面があり、利用方法が異なる。前者は居住者の散策など。後者はスカイツリー周りなど外からの人にどのようにアピールするかなどが重要になると考える。二天門のオープンカフェの取組みもその一環として実施した。

(4) その他

- ・事務局より今後の予定について説明するとともに議論のポイント案について示し、次回の議論にしたい旨の説明。

第1回 水辺とまちのソーシャルデザイン懇談会 出席者

(敬称略・50音順)

	氏名	所属	出欠
コメンテーター	井出 玄一	一般社団法人ポート・ピープル・アソシエーション代表理事	○
コメンテーター	伊藤 香織	東京理科大学工学部建築学科准教授	○
コメンテーター	金井 司	三井住友信託銀行株式会社理事・CSR担当部長	○
コメンテーター	岸井 隆幸	日本大学工学部土木工学科教授	○
コメンテーター	忽那 裕樹	株式会社 E-design 代表取締役	○
コメンテーター	久米 信行	久米繊維工業株式会社取締役会長	○
コメンテーター	紫牟田伸子	紫牟田伸子事務所代表	○
コメンテーター (座長)	陣内 秀信	法政大学デザイン工学部建築学科教授	○
コメンテーター	藁田 博行 (代理)	大阪府都市整備部河川室河川環境課長	○
コメンテーター	辻田 昌弘	三井不動産株式会社 S & E 総合研究所長	○
コメンテーター	遠山 正道	株式会社スマイルズ代表取締役社長	×
コメンテーター	中島 高志	東京都建設局河川部長	○
アドバイザー	渥美 雅裕	国土交通省水管理・国土保全局河川環境課課長	○
アドバイザー	藤井 政人	国土交通省水管理・国土保全局河川環境課河川環境保全調整官	○



本日お話ししたいこと

- ・ BPA活動紹介(さらっと)
+
- ・ 水辺の現状と課題
 - ・ 水辺とは
 - ・ 船とは
- ・ パブリック・スペース
- ・ クリエイティビティー(創造性)
 - ・ プリンシパルの確認

Project File #3

水上ラウンジ L.O.B (Life On Board)

Shibaura, Tokyo

Completion: April 1999

全長: 18m

席数: 32席

設備: キッチン、ラウンジ、バーカウンター、トイレ、化粧室、薪ストーブ (暖房)



東京港の運河に放置されていたバージ船 (物資運搬船) を改装し、運河に浮かぶ異次元空間バーとしてプロデュースした。座席数32席。飲物と軽食をサーブするためのキッチンを備え、パーティーや音楽ライブなどを行うこともできる。タグボートで曳航すれば運河沿いに移動することができるため、空間と時間の中をさまざまな種類の移動式バーとも言える。

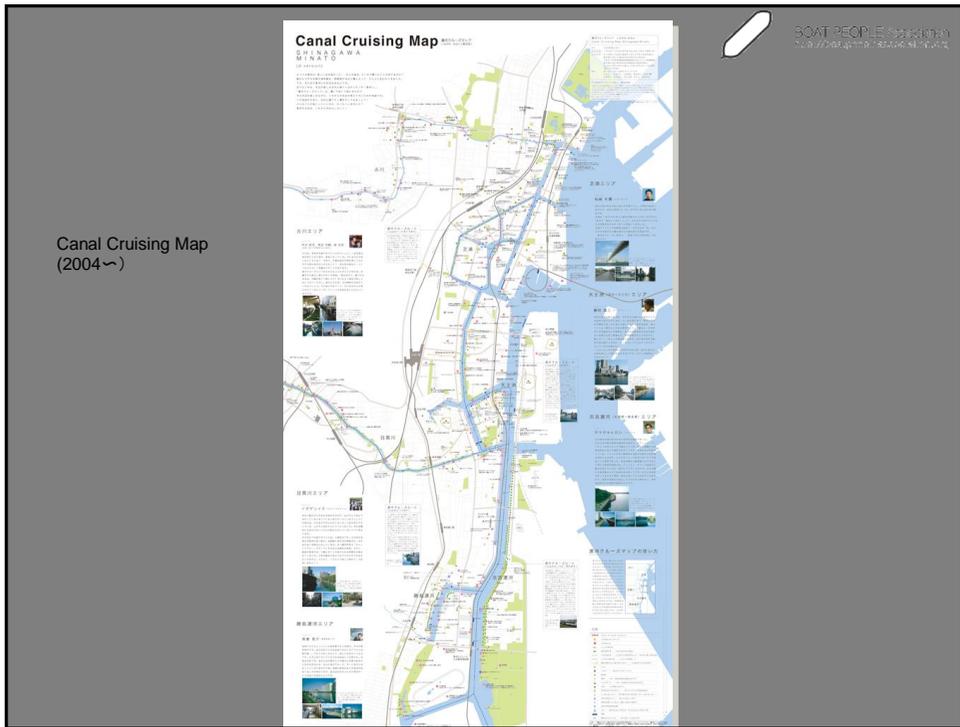


Canal Cruising Map Workshop (2006)



BOAT PEOPLE
<http://www.boatpeople.jp/>









Project File

品川区 東品川海上公園 浮棧橋設置プロジェクト

Shinagawa, Tokyo

Completion: April 2005
全長: 12m

LIFE ON BOARD TOKYO 09-10

江戸の水迷宮

香川・麻布十番・浜離宮 橋小舟クルーズ
江戸の水迷宮クルーズ

石川島・佃島
高輪島・築地エリア
石地蔵エリア
香川・麻布十番・浜離宮エリア
築地エリア

*1 浜離宮
東江川が海軍を導く入れ口の干満で景色の変化を楽しむ。潮入りの景観が景観遺産。江戸時代に公園として造成された。もとは甲斐守邸の下屋敷の遺蹟であったが、寛永後管理の隙を縫って、東家邸に下屋敷跡公園として開園。公園の広さは、200,166.8㎡。江戸幕府が閉かれて暫くは特等官の邸内であったが、明治3年（1868年）に甲斐守邸の跡地が官地として売却され、埋め立てて公園を立てた。その後は甲斐守邸の下屋敷として使われた。このため甲斐守邸跡、海軍艦隊と呼ばれるようになった。跡地の大半は明治初年建築が中心となる。商業の発展により、明治初年の改築して大規模な改修が行われ、売場、火薬所、庫裏が整備された。商業、料亭・娯楽所として石川島跡である高輪島（高輪島跡公園）が建設された。高輪島は、明治初年にも高輪島が完成するまでは遊覧船として使用された。明治初年に、区内の管理となり高輪島跡公園と改められた。明治天皇も賞で訪れた地所。

*2 香川・浜離宮
浜離宮は、東家邸跡の宮庭園（徳田川・宇田川合流点）から天保年間までの260mを流れる二級河川。隅田川（徳田川合流点）から高輪島跡の河口までの4.4kmは香川と名刺を交える。香川河口にはかつて水運の船場が栄え、高輪島に高輪島による運送の拠点があり、高輪島の風景を形成していた。しかしこの2,3年の間に水運船は船倉やコンクリートの建物に建て替わってしまい高輪島は半壊してしまった。この特徴的な河口から川沿いに建てていく。高輪島を復活し、高輪島跡公園まで繋がり、さらに上流は遊覧となり高輪島跡公園地下にまで繋がっている。このように重要を代表する船を復活しながら、存在を認められなかった高輪島跡公園の代役である。特に高輪島は、2007年は船より高輪島山頂の条件で地質学監視の映画「ラムポップ」で注目されており、知られざる都市風景としてインパクトのある映像で紹介されその価値を再認識された。船では香川が写真家や文化人の「ワンダーパスポート」でも特等船となっている。この香川、江戸時代から多くの河原を新し、舟遊インフラ上重要な河川であったようだ。

許可対象行動「天保十四年 御江戸大騒動」
資料提供: (株)人文社



BOAT PEOPLE Association
<http://boatpeopleassociation.org>

LIFE ON BOARD TOKYO
09-10
神田アイランドクルーズ



BOAT PEOPLE Association
<http://boatpeopleassociation.org>

LIFE ON BOARD TOKYO
東京低地クルーズ
2009/11/28





ボートと野菜が東京を救う

2010年3月22日



東京で大地震が発生すると陸上交通は完全に麻痺してしまう。そうした中救助や救援物資は水上交通が担うことが予想される。水上交通を普段から使いこなしておくことがサバイバルにつながる。東京湾の各地から食材を船で運び、都心の水辺で朝市を開催した。



船橋から運んだ
食材を小型船に
載せ換え

救援キャンプ
よりさらに奥地に
運河を利用し
船で食材を届けに
行く



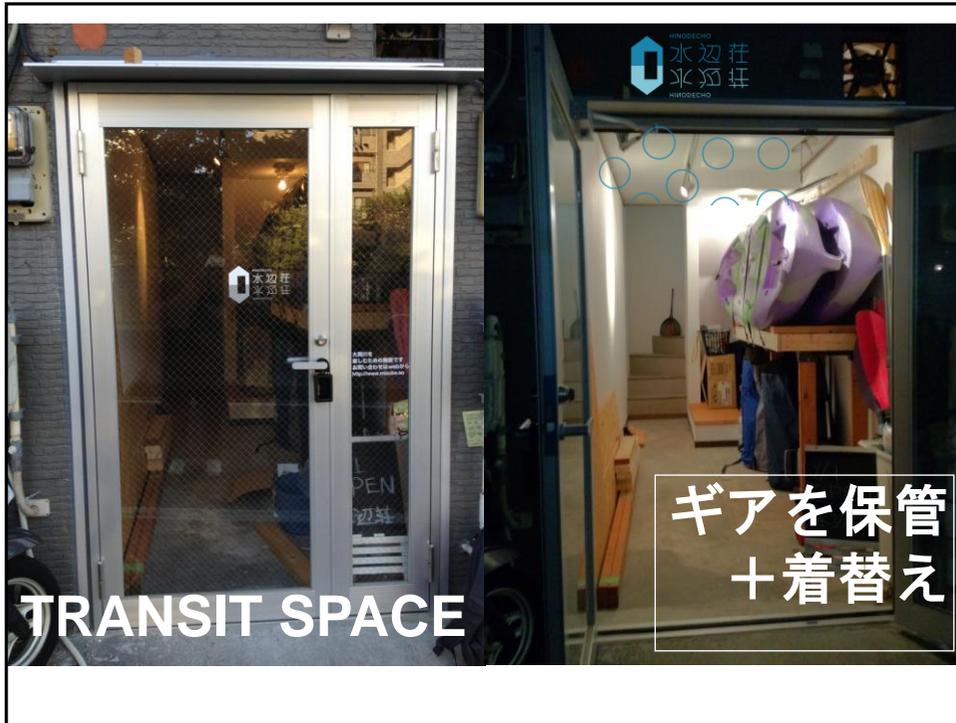


水辺荘
平塚荘
HINOECCHO

黄金町「桜棧橋」 “使い倒し” 提案

地縁型水辺NPOとの連携
陸との繋がりを求めて

The bottom section contains two photographs. The left one shows a waterfront building with a red boat docked at a pier. The right one shows a group of people in a red boat on a river, with a bridge and buildings in the background.



水辺の現状と課題

- ・ 東京の水辺は世界で一番面白い
Ex) 入り組んだ首都高、工場、団地、近代的都市の混在
京浜運河は20世紀の“世界の工場”
- ・ しかし、世界で一番自由度が低い
= 訪れる人少ない
= クリエイティブ性がない
- ・ 水辺が分断され限定的に捉えられている
Ex) 海と川と港、行政的区分、水面側、陸側など
 - ・ PUBLIC ≠ 私たち利用者
= 業界や既得権益者、広く浅い不特定多数の声

BPA的

水辺とは.....

水面
+
陸地
+
人の暮らし

BPA的

水辺とは.....

水面 = 近所の用水路から太平洋まで

+

陸地 = 背後地から山の麓まで

+

人の暮らし = カルチャー = まち = PUBLIC



葉山の海の家的なゆるい

コミュニティの創出

公共のオルタナティブ

やはりリビングの拡張

BPA的

船とは・・・

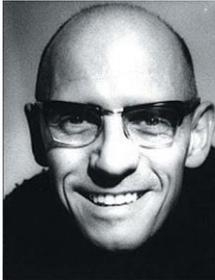


移動・運搬の手段。さらに・・・

- ・ 人と人をつなげるコミュニケーション・ツール
 - ・ 人の思考を揺るがせる装置
- ・ 人と水面と陸のつながりを強めるツール
 - ・ 『ヘテロピア』

→人をクリエイティブにする装置

船とは・・・



ミシェル・フーコー
(仏哲学者 1926年-1984年)

= ヘテロトピア
Heterotopia

日常の延長線上にあるが、
日常から切り離された理想郷。

例) 博物館、図書館、学校、病院、テーマパーク、船

クリエイティブ都市論と水辺

仮説: クリエイティブな水辺が都市の国際競争力を決定する



“現代のクリエイティブ経済における経済成長の真の原動力とは、
才能と生産性に満ちた人々の蓄積と集中化である。彼らが特定の
地域に寄り集まって住むことで、新しいアイデアが生まれ、その地
域の生産性は増加する。”

『クリエイティブ都市論—創造性は居心地のよい場所を求める』
リチャード・フロリダ (著)

プリンシパルの確認

(理想論と原則論たっぷりです…)

■ 水辺幸福追求権

すべての人は水辺で幸せになってしまう権利がある

■ 自己責任の原則

水辺では自己の安全管理は自分で行う＝シーマンシップ

■ 航行の自由の原則

すべての人は水面を自由に通行する権利がある

■ 水辺自由使用の原則

水辺はパブリック・スペースであり、誰もが自由に使える

都市と水辺とシビックプライド

2013年1月16日

紫牟田伸子

Creative management, SJ

シビックプライド研究会

シビックプライド研究会

2005年に発足。アート、デザイン、建築、広告などの異なる分野から都市再生・都市開発、地域経済活性化に携わるメンバーが参加。

主にヨーロッパの都市調査、事例研究を通して、シビックプライド(都市に対する自負)を醸成するコミュニケーションのデザインについての研究を行う。

2008年11月、それまでの研究成果を『シビックプライド:都市のコミュニケーションをデザインする』(宣伝会議)にまとめた。

メンバーそれぞれの講演や活動のほか、研究会としては月1回の研究会を開催。2009年より地域アイデンティティ構築戦略立案などの業務依頼(足立区、千代田区、新潟市ほか)を受ける。

2010年より、BANKART(横浜市/2010年)、松山市、西条市(ともに2011年)などで、ワークショップ形式の「シビックプライド講座」を開講している。



BANKART(横浜)での
「シビックプライド講座」
の様子

あなたのまちは
愛されていますか？

あなたはこれから
どのまちを選びますか？

「シビックプライド(civic pride)」

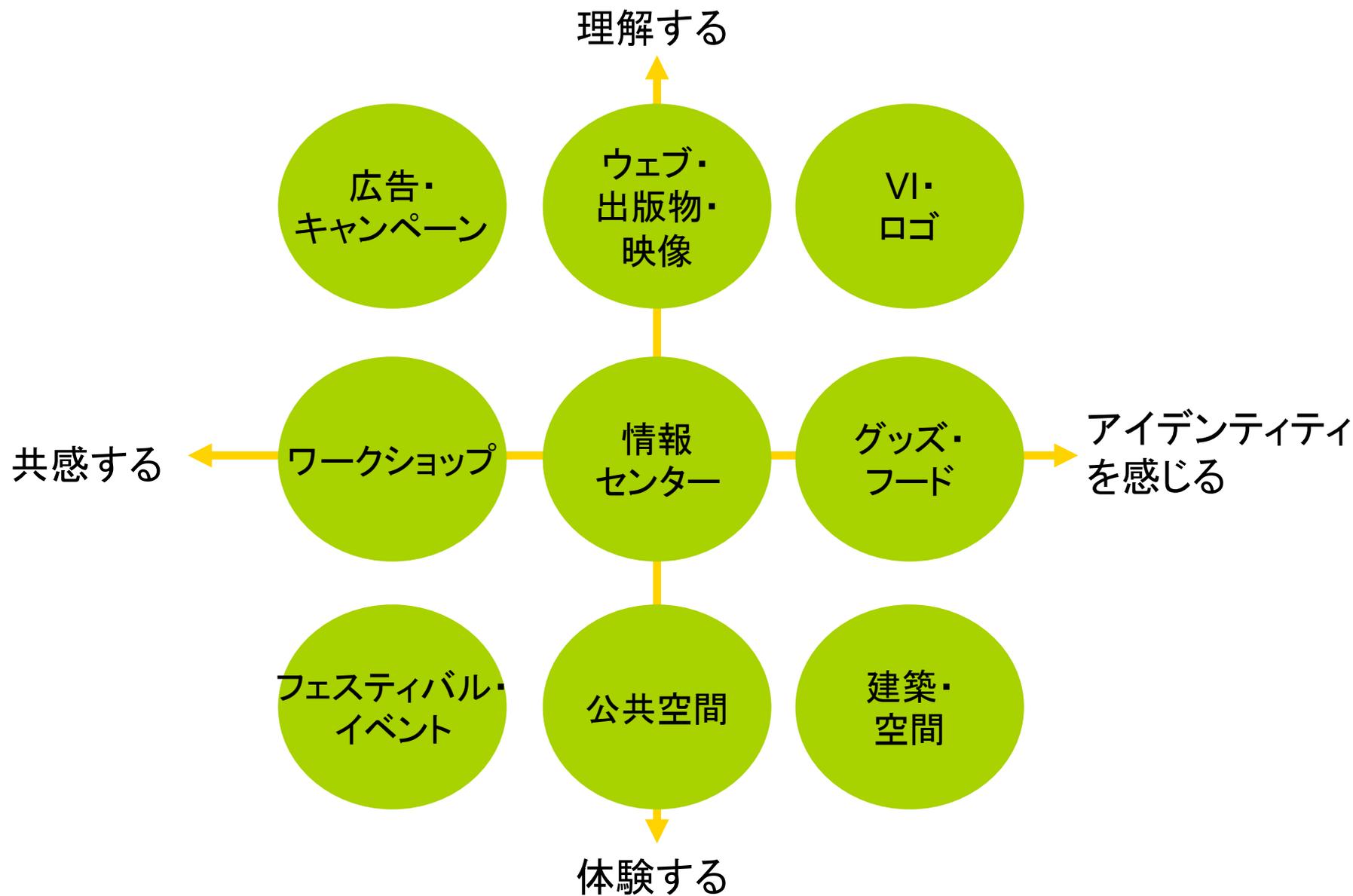
シビックプライドは、
都市に対する誇りや愛着

ここをより良い場所にするために
自分自身が関わっているという
意識を伴う

当事者意識にもとづく自負心
といえる。



まちと人のコミュニケーションポイント



「シビックプライド」の発祥は、産業革命時のイギリス

シビックプライドがなければ、互いを尊重し自治能力を持つコミュニティへの意欲は頓挫してしまう。シビックプライドによって、その**動機、ひらめき、報い**がもたらされる。シビックプライドは、**集団の行動や個人の自発性**の原動力である。...

シビックプライドを押しつけることはできない。**シビックプライド育まれなければならない**。シビックプライドは地域のビジョンであり、国のマスタープランではない。...

初代・英国地域社会および地方政府大臣
デイヴィッド・ミリバンド
2005年の就任スピーチ

Hafencity, Hamburg, Germany

「ハーフェンシティ」は、エルベ河の旧関税地区の都市開発である。住宅、教育施設、商業施設、文化施設を擁する一大開発である。開発地域は、ウォッチタワーを設置して一般の人々が川辺の開発を見学することができる。また、工事は公共空間から竣工されており、人々がエルベの水辺を楽しむイベントなどが行われることで、開発途中から水辺都市に親しむデリバリーが工夫されている。また、都市のビジョンは、ユネスコ保護指定のボイラー倉庫のコンバージョンで、年間20万人が訪れる。



Newcastle/Gateshead, UK

タイン川をはさむ双子都市ニューキャッスル市とゲイツヘッド市は、20世紀半ばまで、鉱業、造船業などで栄えた後、衰退。1998年に英国の美術家アントニー・ゴームリーの巨大彫刻「Angel of the North」がゲイツヘッド市に設置されたのを端緒に、二都市が手を組んで文化による都市再生に着手し、タイン川の両岸を結ぶ、新たな先端的な創造都市として生まれ変わる。河岸エリアに建設された現代美術館、音楽ホール、橋などによって、印象の強い風景をつくり出している。



ニューキャッスル／
ゲイツヘッド

Bordoux, FRANCE

ボルドーの都市開発計画は、鉄道を中心とする市街地計画と、ガロンヌ川の東側の、開発の遅れていた低所得者が多く住む郊外エリア開発と西側の歴史的旧市街とを結びつけることが意図されている。西側には石畳の広場や噴水などが連続し、旧造船所エリアは美術館や飲食などの文化的エッジエリア。東側はボルドー地方に植生する植物による植物園が、新築の低層マンション群の間にあったり、自然を活かした広い空間に生まれ変わった。東と西をつなぐトラムは、川も含めた都市の風景を楽しむ乗り物として考えられている。



世界の都市の水辺から

- ・ 水辺はまちの中心
- ・ 両岸を「つなぐ」アイデアとデザイン
- ・ 水辺からまちなかへ、まちなかから水辺へと「つなぐ」デザインとアイデア
- ・ 川を中心にした
- ・ 地域性、場所性を活かした環境づくり
- ・ 水辺の産業遺産を活かす
- ・ 市民のものとしての公共の整備
- ・ 自分たちごととしての公共を楽しむ作法のデリバリー

市民に水辺の使い方と作法を感じさせる大人のデザイン





Picnopolis Newcastle Gateshead (2008)



Picnopolis Singapore night picnic in Marina Bay (2010)



photo: ***roham***@Flickr

水辺とまちのソーシャルデザイン懇談会 ～東京都の事例～

資料2-3



- 水害の歴史
- 隅田川のスーパー堤防・テラス
- 江東内部河川の水位低下
- 隅田川での新たなにぎわい
- 神田川・日本橋川での新たなにぎわい
- 今後の川まちづくりの課題

平成26年1月16日(木曜日)
東京都建設局河川部長 中島 高志



水害の歴史

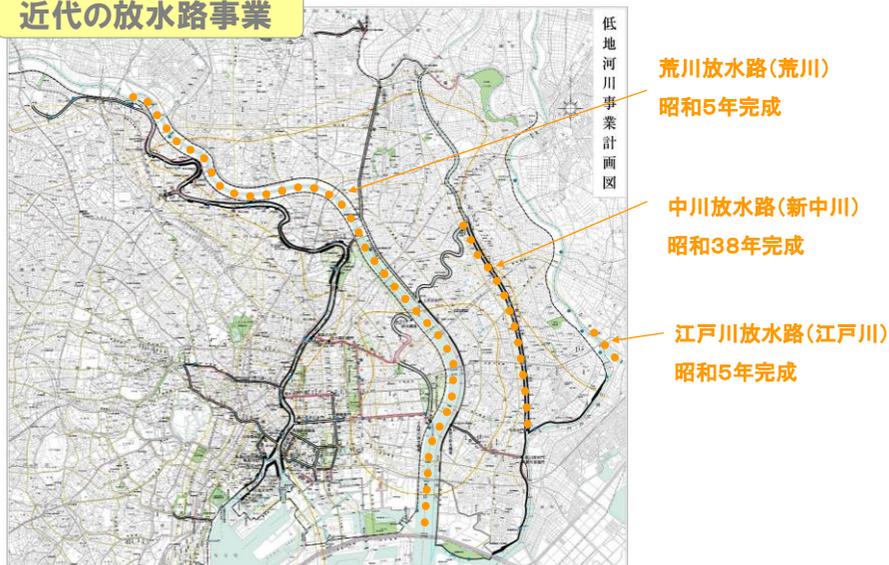
明治43年8月の台風では、東部低地帯が大規模に浸水 浅草 東本願寺



水害の歴史

明治43年の大洪水を契機に、荒川放水路の開削を開始

近代の放水路事業



隅田川のスーパー堤防

コンクリート防潮堤
(昭和38~50年度)

スーパー堤防(昭和60年度~)

- 伊勢湾台風級の高潮に対処
干潮面より、5.1m高い防潮堤

- 2つの目的
地震対策と親水性の向上
- 川沿いの民間開発などと一体に整備



既設防潮堤

テラス

スーパー堤防

代表的な河川である隅田川では、全延長の約29%がスーパー堤防化されている

隅田川のスーパー堤防

スーパー堤防

スーパー堤防 隅田川(新川・箱崎地区)



整備前



整備後

東京を代表する河川・隅田川にふさわしい優れた景観を形成

隅田川のスーパー堤防

スーパー堤防

スーパー堤防 隅田川（大川端地区）



施工前

IHIの工場跡地の開発に合わせ
スーパー堤防化



施工後

隅田川のスーパー堤防

スーパー堤防



スーパー堤防上に広域避難広場が整備された白雲西地区

避難人口12万人
(荒川区の人口約20万人の6割)

隅田川のテラス



蔵前橋下流(なまこ壁風)



弁慶カニが繁殖

蔵前橋下流(緑化と水路)



明石(レンガ風)



両国(隅田川テラスギャラリー)

江東内部河川の水位低下

特に地盤の低い地域では、常時、水位を低下

船の航行のため
閉門を設置

● 水門・樋門
● 排水機場

特に地盤の低い地域

▲昭和49年頃

水位をAP-1.0m
まで低下

■河道整備(旧中川)

整備状況	延長(km)	整備率(%)
全体計画	50.3	
H17末まで	22.5	45
H18予定	1.0	47
H19以降	26.8	

※延長は両側河川と東側河川の合計、整備率は累計

江東内部河川の水位低下




旧中川(水位低下区間)

安全確保とともに、まちと一体的な景観を実現





亀戸中央公園前(桜開花時期)

江東内部河川の水位低下




小名木川(水位低下区間)「塩の道」再生



歌川広重「名所江戸百景」
(1856~1858)より

「塩の道」と呼ばれた
小名木川の歴史を踏まえ

- ・石積み風護岸
- ・木調の転落防止柵
- ・柳の植栽
- ・江戸風の看板や常夜灯
など






江東内部河川の水位低下



江東内部河川の水位低下



隅田川での新たなにぎわい



オープンカフェ（隅田公園）



太陽のマルシェ（勝どき橋テラス）



ヘブナーティスト（吾妻橋テラス）



東京ホテル（浅草付近）

神田川・日本橋川での新たなにぎわい



神田川

マーチ・エキュート 神田万世橋(JR)



日本橋川

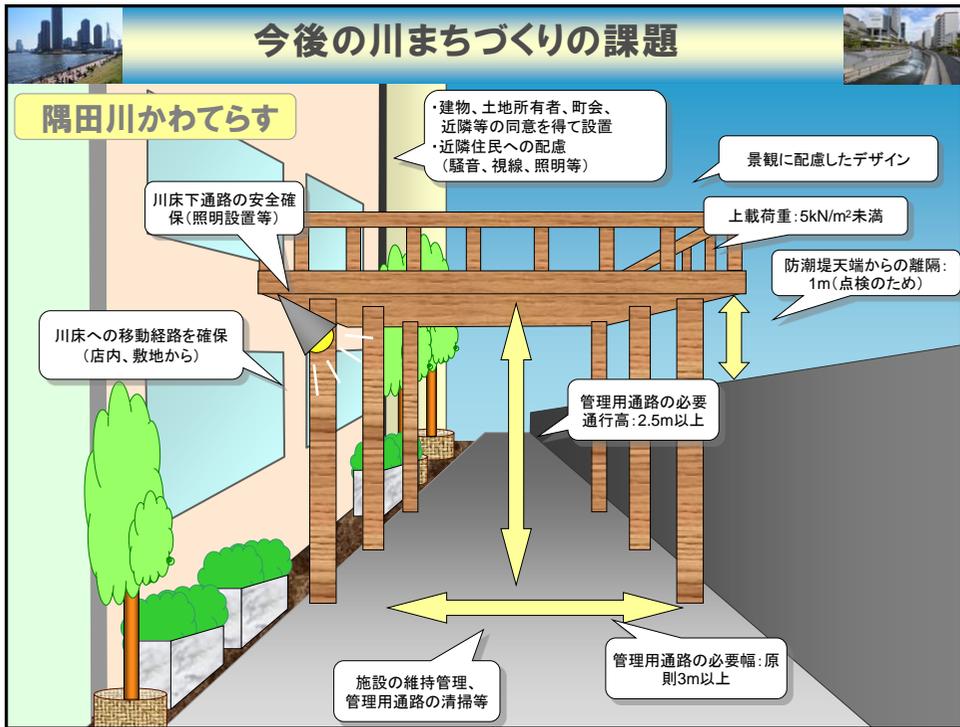
日本橋船着場(中央区)



神田川を眺めながら食事も可能



日本橋川・神田川めぐり
(東京水辺ライン)



今後の川まちづくりの課題

渋谷川における取り組み



平成 23 年 4 月 「河川敷地占用許可準則」の改正

⇒ 地域活性化のための河川敷地の占用に関する規制緩和

- ・ 占用可能な施設：『広場、イベント施設等』が追加



沿川住民、東京都、渋谷区、渋谷駅南街区事業者により構成される「渋谷川環境整備協議会」を発足

今後の川まちづくりの課題

渋谷川における取り組み



東急東横線

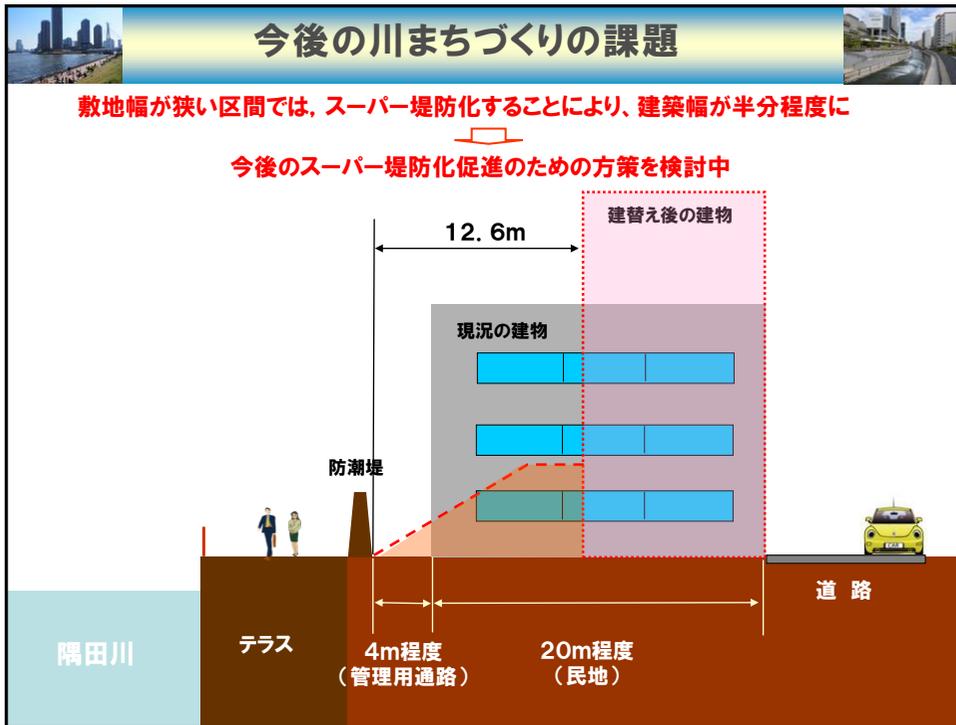
渋谷駅南街区プロジェクト(渋谷三丁目21地区)



東京急行電鉄株式会社HP

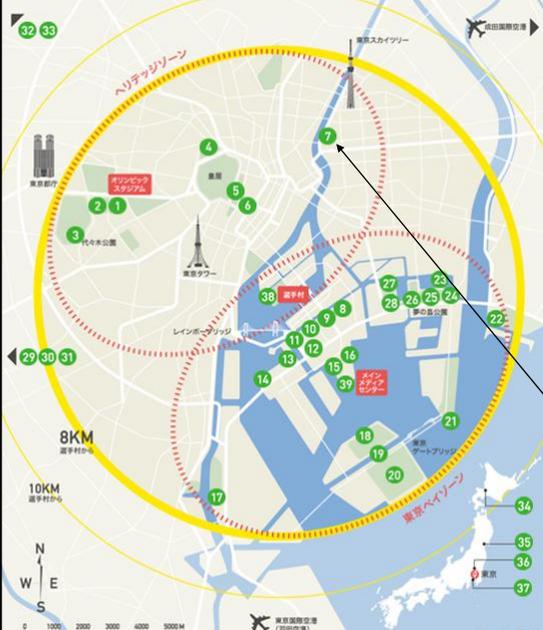
2017年開業予定





今後の川まちづくりの課題



2020年 東京オリンピック
国技館がボクシング会場

臨海部に選手村やメディアセンター、
 多数の競技会場が配置

⇓

東京を代表する河川・隅田川に
 ふさわしい景観

舟運の活用、にぎわいの創出



7 国技館

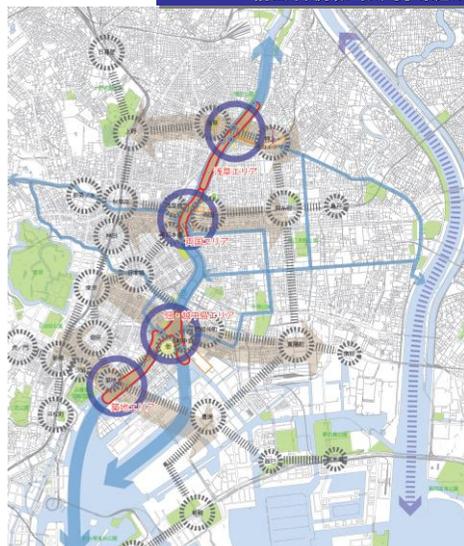
大相撲の聖地をボクシング会場に
 日本の国技である相撲の聖地は、ボクシングにとって理想的なすべり球の会場であり、観客は四方から競技を観戦することが出来る。国技館は、プロボクシングのタイフーンマッチを開催した実績もある。

今後の川まちづくりの課題




水辺に人々の活動を誘導する機能の充実が必要
(水辺の価値の向上／水辺と街の接続性・回遊性向上／にぎわい創出の持続可能な仕組み)

隅田川下流域における『水辺の拠点』



『浅草エリア』
 上野⇄浅草⇄東京スカイツリー
 浅草・東京スカイツリーを結ぶにぎわいの水辺

『両国エリア』
 秋葉原⇄両国⇄錦糸町
 歴史・文化が息づく「水の都」東京の顔

『佃・越中島エリア』
 東京・日本橋⇄越中島⇄東陽町
 開放的な河川景観が広がる洗練された水辺都市

『築地エリア』
 銀座・新橋⇄築地⇄豊洲
 海・川・街を接続する隅田川の玄関口

: 街の核
 : 防災船着場
 : 地域資源
 : 街の軸
 : 川の軸
 : 水辺の拠点

ご清聴ありがとうございました



議論のたたき台

平成26年1月16日

【視点1】我が国の水辺の魅力と価値

第1回懇談会での主なコメント:

- ・隅田川、神田川は意外と時が止まっている状態。ソフト面はよくなってきたが、事業部門はあまり参加していない。
- ・大阪の水辺には色気がある。
- ・東京都心の水辺は世界で最も面白い場所。ポテンシャルが高い。
- ・大阪では使いながら水辺を変えつつある。
- ・川は左岸右岸や橋の東西で違う文化を作っているのが面白い。
- ・ファミリーが来るような仕組みづくりが重要。
- ・水運に光を当てて考える必要
- ・川から生活が見えるようになると面白い。
- ・日々目にしているものと記憶とをどのようにつなげてアプローチしていくか。
- ・諸外国だと船が通勤手段など日常生活に溶け込んでいる。
- ・河川は安全第一。貴重なオープンスペース。日常空間と非日常空間の二つの側面。

【ポイント】

- ・水辺の魅力、価値
- ・世界に誇れる日本の水辺
- ・水辺の歴史的、文化的な価値
- ・家族・日常生活と水辺
- ・水運としての水辺
- ・日常性と非日常性



場の価値をどう考えるか
歴史的・文化的価値をどう考えるか
精神的価値をどう考えるか
商業的価値をどう考えるか
「気づきの視点」をどう広めるか

[視点2] 水辺の魅力・価値を街づくり・地域づくりの中に活かす方法・アイデア

第1回懇談会での主なコメント:

- ・隅田川、神田川は意外と時が止まっている状態。ソフト面はよくなってきたが、事業部門 はあまり参加していない。(再掲)
- ・川とまちを結びつけるというコンセプトは重要。
- ・都市の水辺に新しい水上経験をつくる。
- ・個人の楽しみと行政の管理にコンフリクトがある。
- ・シビックプライド＝まちのデザインなどに関わることによりまちに対する誇りが醸成される。
- ・都市のウェルカム感の表現も大事。
- ・公共空間のような「みんなのもの」は、「自分のもの」でないと捉えられ、結局「誰のものでもなく」になりがち。
- ・大阪では使いながら水辺を変えつつある。(再掲)
- ・行政内では、一方でやれそうな流れになっても、もう一方で反対されて実現しない。
- ・中央と現場との感覚にずれがある。
- ・まちを使いこなして楽しみ方を共有すること。
- ・川は左岸右岸や橋の東西で違う文化を作っているのが面白い。(再掲)
- ・水運に光を当てて考える必要。(再掲)
- ・川から生活が見えるようになると面白い。(再掲)
- ・「新しいこと、とんでもないことをやりたい」という思い。
- ・役所的にはどこが何を負担するかなどで問題になることもある。

【ポイント】

- ・行政部門の課題(部門間、中央と現場)、個人の楽しみと行政の関係
- ・シビックプライド
- ・都市のウェルカム感
- ・まちと水辺を使いこなす
- ・川とまちを結びつける
- ・新しい水上経験
- ・川から見える生活
- ・水運



まちの構成要素としての水辺をどう考えるか
観光資源としての水辺をどう考えるか
商業利用の方策とは何か
新しい水上経験を引き出す利活用とは
日常生活と水辺のあり方とは

【視点3】 民間企業の関わり方

第1回懇談会での主なコメント:

- ・問題は民間企業が参加してこなかったこと。
- ・都市の水辺に新しい水上経験をつくる。(再掲)
- ・都市のウェルカム感の表現も大事。(再掲)
- ・公共空間のような「みんなのもの」は、「自分のもの」でないと捉えられ、結局「誰のものでもなく」なりがち。(再掲)
- ・投資の対象となるにはキャッシュフローが確保されているかどうかポイント。
水辺の再構築には、キャッシュフローを向上させるためのリノベーションがポイント。
- ・打つ政策次第では無から有が生まれる。
- ・お金を使わないで、どうやってファンドレイジングしながら面白いことをやるか。
- ・水運に光を当てて考える必要。(再掲)
- ・川沿いにマーケットが出来ないか。
- ・都市では、民間参入と持続可能な仕組みづくりが必要。

【ポイント】

- ・キャッシュフローを向上させるリノベーション
- ・ファンドレイジング
- ・民間参入と持続可能な仕組みづくり



水辺のリノベーションとは
民間参入の障壁とは
持続可能な仕組みとは

[視点4] 各主体(民、産、学、官)の参画の仕組み

第1回懇談会での主なコメント:

- ・個人の楽しみと行政の管理にコンフリクトがある。(再掲)
- ・東京都心の水辺は世界で最も面白い場所。ポテンシャルが高い。(再掲)
- ・シビックプライド=まちのデザインなどに関わることでまちに対する誇りが醸成される。(再掲)
- ・都市のウェルカム感の表現も大事。(再掲)
- ・公共空間のような「みんなのもの」は、「自分のもの」でないと捉えられ、結局「誰のものでもなく」なりがち。(再掲)
- ・大阪では使いながら水辺を変えつつある。(再掲)
- ・行政内では、一方でやれそうな流れになっても、もう一方で反対されて実現しない。(再掲)
- ・中央と現場との感覚にずれがある。(再掲)
- ・まちを使いこなして楽しみ方を共有すること。その舞台となる環境の形成、そしてそれを支える仕組みづくりが必要。(再掲)
- ・ファミリーが来るような仕組みづくりが重要。(再掲)
- ・日々目になっているものと記憶とをどのようにつなげてアプローチしていくか。(再掲)
- ・人に伝えるときにモデル事業がすごく重要。
- ・「新しいこと、とんでもないことをやりたい」という思い。(再掲)
- ・都市では、民間参入と持続可能な仕組みづくりが必要。(再掲)
- ・役所的にはどこが何を負担するかなどで問題になることもある。(再掲)

【ポイント】

- ・世界への発信
- ・シビックプライド
- ・都市のウェルカム感
- ・行政の関わり方
- ・民間参入と持続可能な仕組み
- ・まちと水辺の使いこなし方と環境形成、支える仕組み



国内及び世界へのプロモートの考え方
「気づきの視点」をどう広めるか
「つくる」だけでなく「育てる」ことも視野に入れる意識改革
シビックプライドを取り入れた仕組みとは
水辺とまちを使いこなす持続可能な仕組みとは
民間参入が可能な仕組みとは
その時、行政はどう関わるのか

スケジュール(案)

第1回懇談会 = 12月27日(金)13:00~15:00

- ①趣旨説明
- ②自己紹介

第2回懇談会 = 1月16日(木)10:00~12:00

- ①事例紹介
- ②議論のポイント(たたき台)に関する意見交換

第3回懇談会 = 2月7日(金)13:00~15:00

- ①事例紹介
- ②メッセージ集(骨子案)に関する意見交換

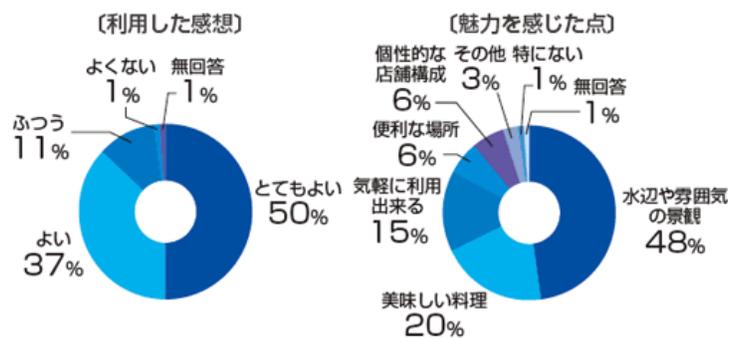
第4回懇談会 = 2月27日(木)13:00~15:00

- ①コメンテーターからメッセージ
- ②メッセージ集(案)に関する意見交換

参考データ

平成26年1月16日

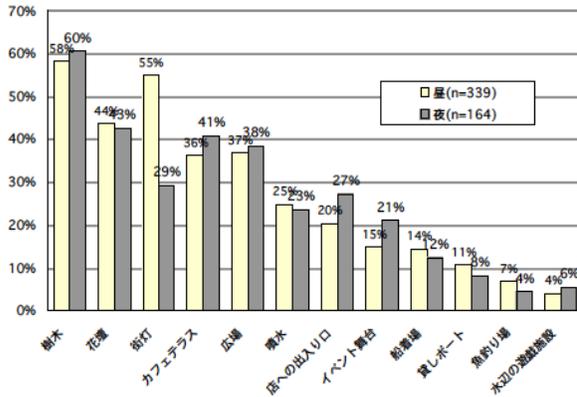
広島市:京橋川オープンカフェにおける利用者アンケートの結果



京橋川オープンカフェ（独立店舗型）における利用者アンケートの結果
（平成18年（2006年）10月）

オープンカフェの実施により、水辺空間の新たな使い方についての市民ニーズ、関心の高さが明らかになった。
オープンカフェの魅力として、「水辺の雰囲気や景観」が高く評価、認識されている。

大阪市:道頓堀川におけるアンケート



遊歩道に必要なと思うもの

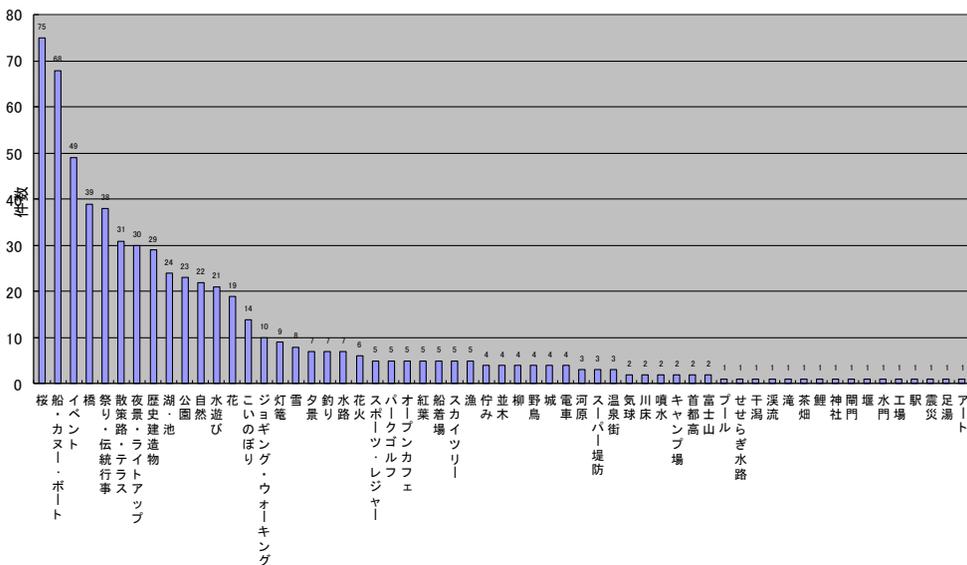
因子分析の結果(昼)

因子軸名	歩く楽しみ	川の水	休息性
歩きやすい	0.737	0.044	0.056
橋と遊歩道の間の移動がしやすい	0.598	-0.017	0.131
以前より道頓堀川を好きになった	0.482	-0.212	0.037
遊歩道にゴミが少ない	0.462	-0.064	-0.012
川の水がきれいだった	-0.048	-0.690	0.186
水にさわりたい	0.047	-0.634	0.065
橋の上からよりも水がきれいに見える	0.089	-0.473	0.153
川沿いに緑が多い	-0.047	-0.274	0.681
橋や街の景色がよい	0.121	-0.122	0.582
休む場所が多い	0.105	-0.015	0.521
自然を感じられる	0.039	-0.345	0.400
遊歩道を歩いているのが気持ちにならない	0.394	-0.019	0.018
歩いていて快適だ	0.376	-0.015	0.191
遊歩道の敷物が楽しめる	0.323	-0.088	0.078
遊歩道での敷物が楽しめる	0.121	0.130	0.362
川にゴミが少ない	0.141	-0.258	0.064
橋の上に出歩いて匂いが臭にならない	0.141	-0.147	0.028
橋の上からよりも川のゴミが少なく感じる	0.152	-0.237	0.067
水とのふれあいがある	0.306	-0.295	0.066
川の景色がよい	0.213	-0.268	0.274
橋の上からよりも景色がよい	0.130	-0.230	0.228
総合的に遊歩道には満足だ	0.198	-0.081	0.233

- ・樹木や花壇の「緑」とともに、カフェテラスや広場の「賑わい」も求められている。
- ・昼間では、「歩く楽しみ」、「川の水」(マイナス)、「休息性」が評価要因となっている。

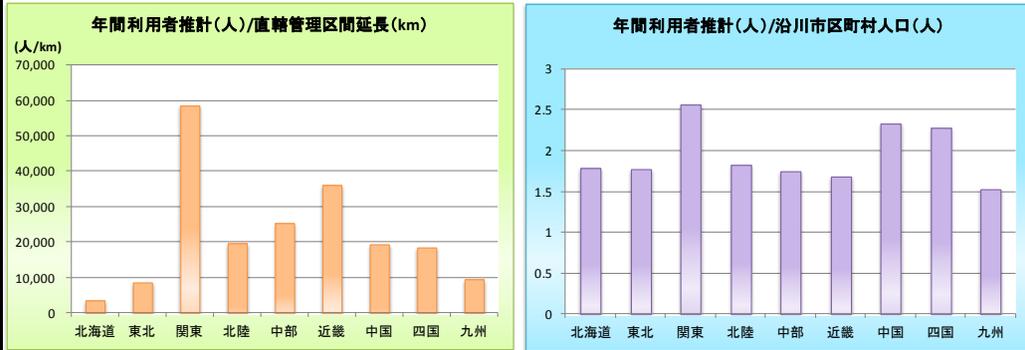
梶原ら: 因子分析による道頓堀川遊歩道整備に対する評価の分析, 土木学会第60回年次学術講演会(H17)

「全国水辺自慢写真集」におけるキーワード整理



「美しい水辺とまち」をテーマに風景写真を募集した「全国水辺自慢写真集」383点の写真からキーワードを1〜複数個判別し整理した。

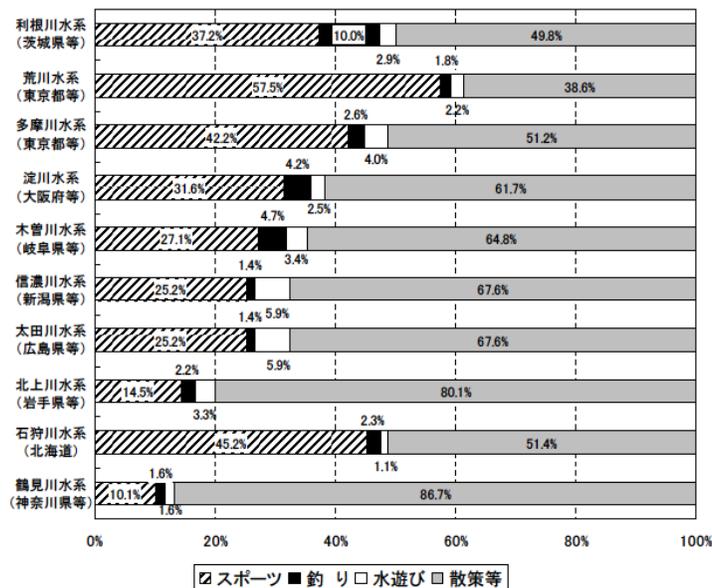
一級水系の直轄管理区間における年間河川利用者数(推計)



- ・首都圏を抱える関東での利用者数が多い。
- ・1kmあたりの利用者数は関東について近畿、中部の利用者数が多い。
- ・沿川市区町村の人口と比べると、関東以外では中国、四国での利用者数が多い傾向がある。

H21年度河川水辺の国勢調査(空間利用実態調査)より

利用者数トップ10(H21年度)の河川における利用形態



河川水辺の国勢調査(空間利用実態調査)より

護岸整備等が賑わいづくりに貢献している例

■大阪市:道頓堀川



整備前



整備後

護岸整備等が賑わいづくりに貢献している例

■広島市:京橋川



整備前



整備後

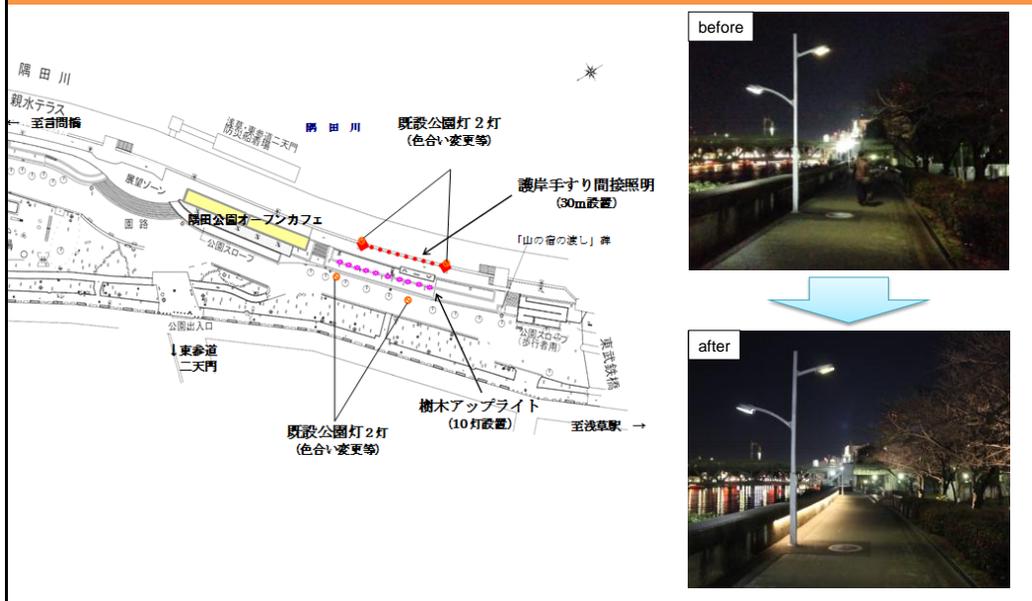
まちなかの修景等が賑わいづくりに貢献している例

■香取市:小野川



電線の地中化や街並みの修景

隅田川沿いで「あかり」を活用した夜間景観のイメージアップ (社会実験)



隅田川沿いで日本最大級規模の新しい都市型マルシェを開催 (社会実験)

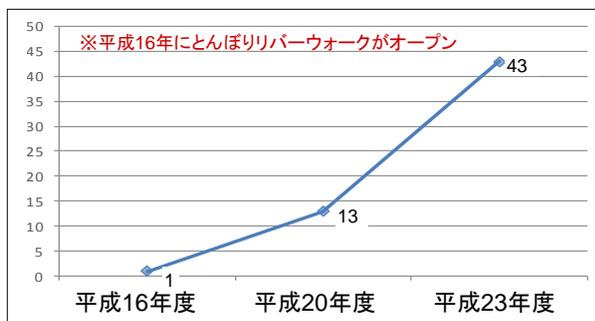


太陽のマルシェ(隅田川テラス会場)

沿川建物の川側への出入口設置件数の増加 (大阪市道頓堀川)



川側の出入口

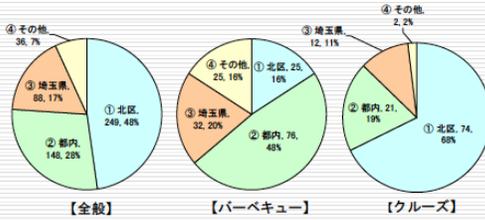


※川側への出入口設置件数(大阪市調査)

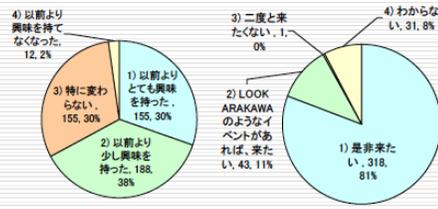
東京都: 荒川での社会実験時におけるアンケート

● 利用者約500名に聞いたアンケート調査結果の概要は次のとおり。

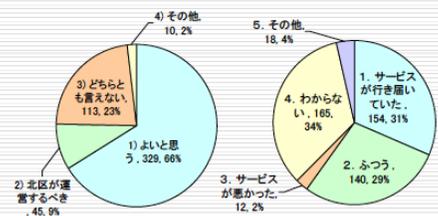
1) 利用者の特性



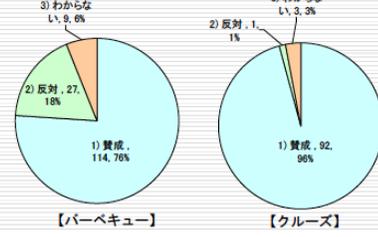
2) 荒川への興味



3) 民間事業者運営の賛否



4) 料金徴収の賛否



社会実験メニュー: バーベキュー、ケータリング、クルージング、駐車場拡大、展望テラス

水上バスで行こう!

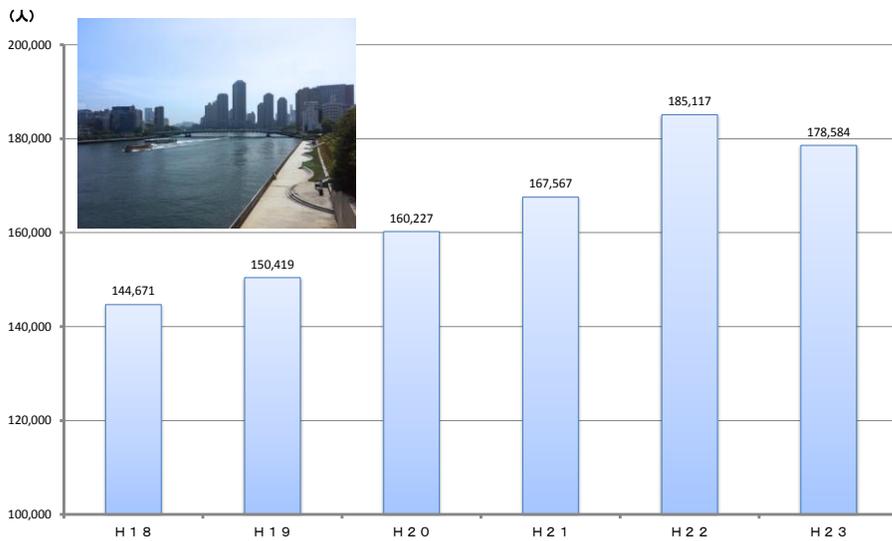
運航コース・料金・時刻表 イベント便 宴会・お食事 貸切・団体利用 お問い合わせ よくあるご質問

お知らせ
2018年11月1日 通常・社会実験クルーズの運航状況はこちら!
2018年1月2日 河原宮実業推進協議会のお知らせ

東京水辺ラインHP

運航ルート一覧

隅田川水上バス(東京水辺ライン)の利用者数



公益財団法人東京都公園協会公表データより作成

TOKYO CRUISE 海抜0mからの東京発見

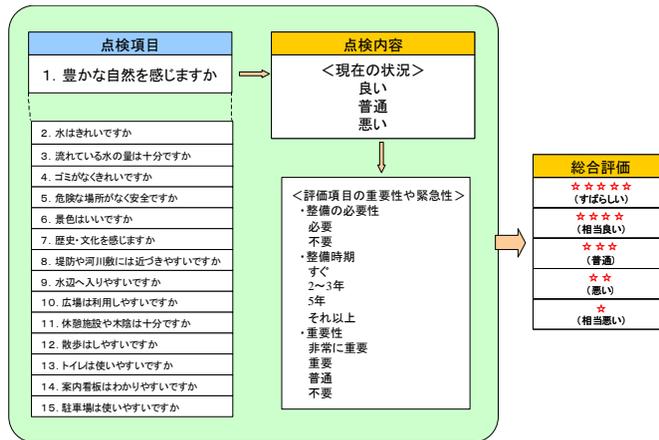
東京都観光汽船株式会社HP

運航ルート一覧

川の通信簿とは

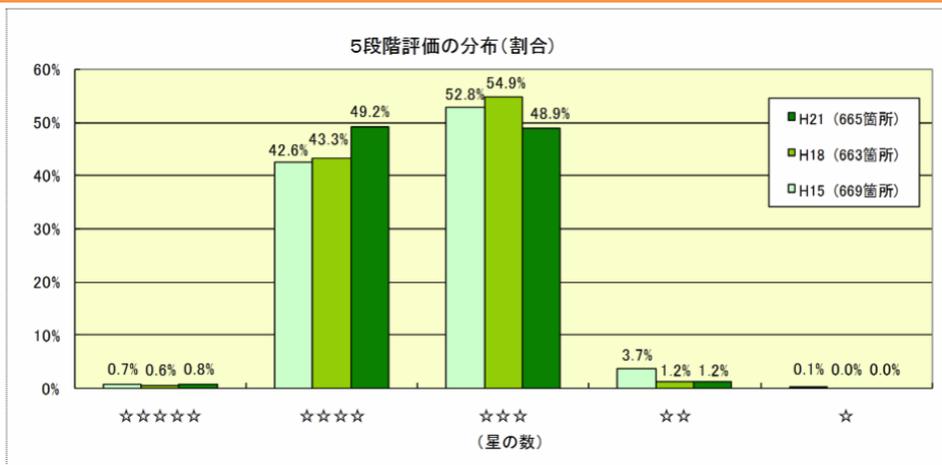
川の通信簿①

・良い点・悪い点を把握し、河川整備計画や日常の維持管理等に反映することにより、良好な河川空間の保全、整備、管理を図ることを目的とし、全国の河川空間の親しみやすさや快適性などを現地において市民と共同でアンケート調査を実施



一級水系直轄管理区間における評価結果

川の通信簿②

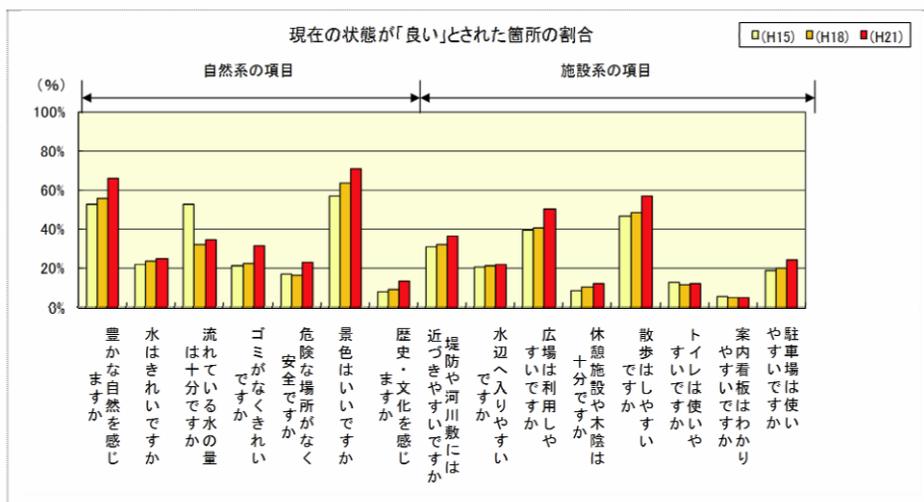


・全国の108水系236河川、665箇所で「川の通信簿」による調査を実施。
 ・のべ14,339人の参加者がありました。
 ・各事務所が公募等により参加者を募集し、実際の河川の現場でアンケート。

川の通信簿調査結果より

「良い」という評価結果の要因

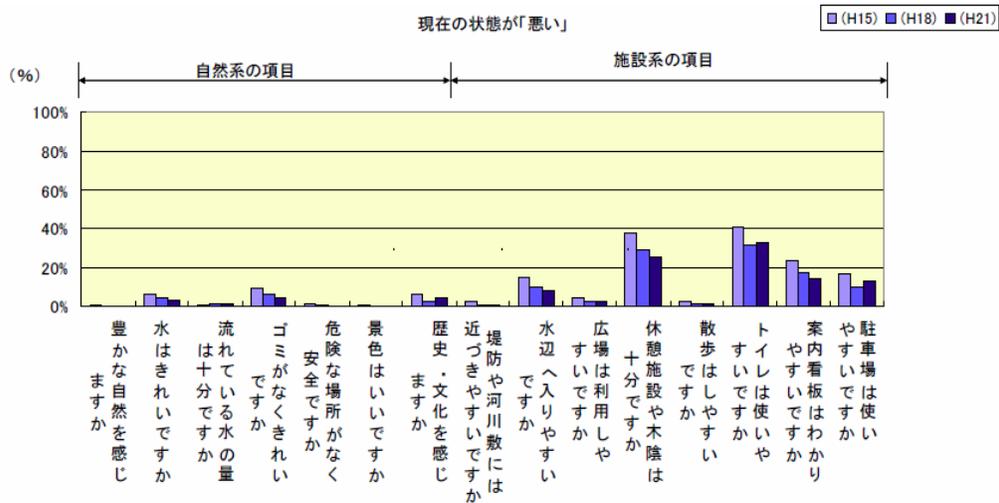
川の通信簿③



川の通信簿調査結果より

「悪い」という評価結果の要因

川の通信簿④



川の通信簿調査結果より

民間企業による商業利用の例(水辺のカフェ)



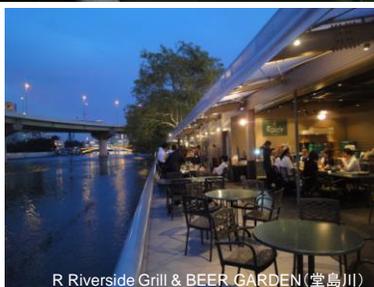
cafe REGALO等(京橋川)



リバーサイドカフェ シェロイリオ(隅田川)



ニホンパシテノイチノイチ(日本橋川)

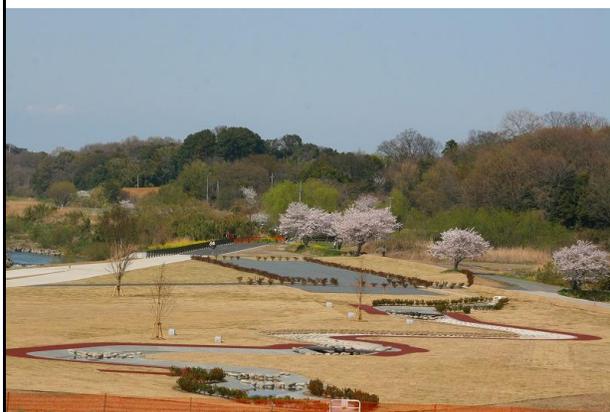


R Riverside Grill & BEER GARDEN(堂島川)

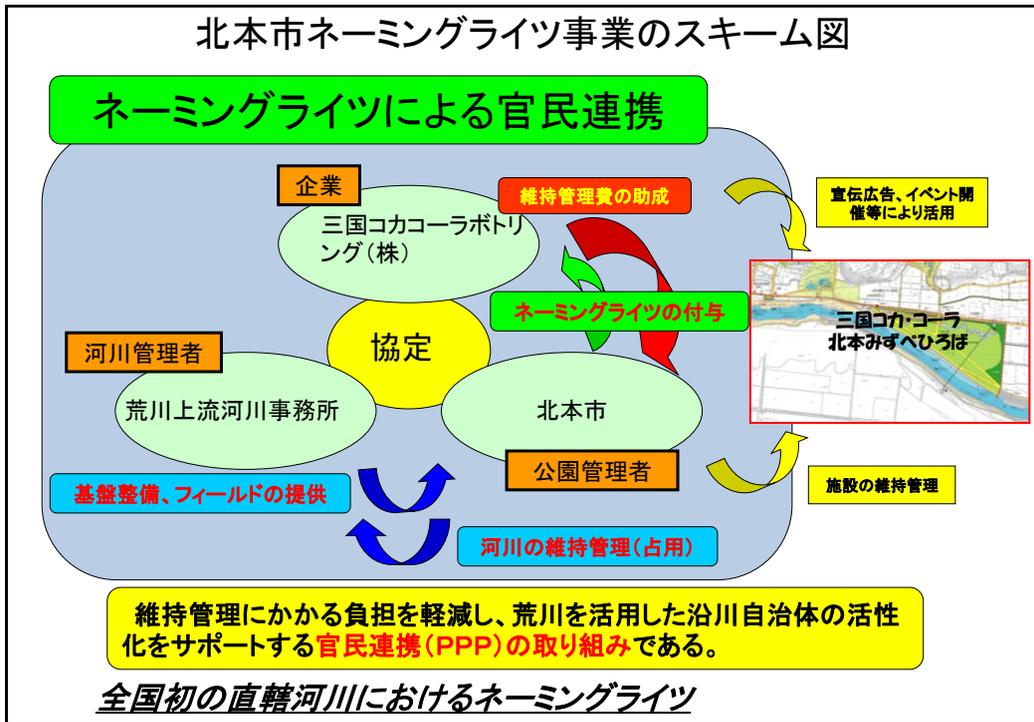
民間資金による河川管理の例

■北本市ネーミングライツ事業(埼玉県、荒川)(北本高尾地区かわまちづくり)

- (1) パートナー企業
三国コカ・コーラボトリング株式会社
- (2) 愛称
三国コカ・コーラボトリング北本みずべひろば
- (3) 命名権料
1,050,000円(消費税含)/年間(北本市を經由して公園の維持管理に充当)



北本市ネーミングライツ事業のスキーム図



河川以外の民間活力を活かした取り組み【港湾】

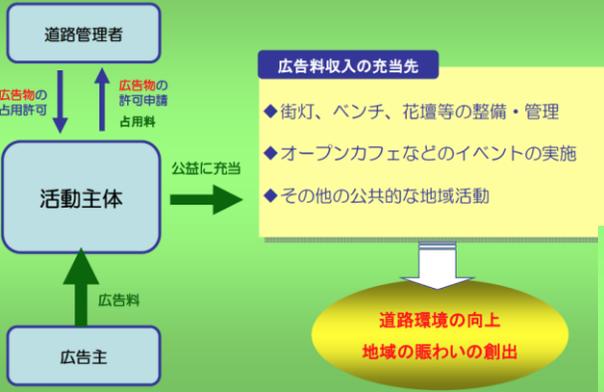
- 運河ルネサンス(東京都)



- ・今まで港湾関連事業者などに限定していた水域占有許可を規制緩和。
→運河で水上レストランや栈橋などが設置可能。
- ・イベント会場として運河沿い遊歩道や防災船着場などを提供。開催に伴う手続きの簡素化、イベントのPRなどでイベント運営支援実施。

河川以外の民間活力を活かした取り組み【道路】

地域における公共的な取組みに要する費用への充当を目的とする広告物の取扱い



▶ 広告物は設置中も高さが1.8m以下で認められることとし、原則として1物件につき1個、街灯に あつては1対まで。

▶ 追加設置等の大きさは、原則として車道内から見た場合に於ける占用物の幅及び高さを超えないものとする。ただし、街灯に添加する場合は、突出し幅及び高さ以下。

▶ 道路幅員の向上を主たる目的に設置される花壇等に添加する広告物については、大きさ等は必要最小限。

高さへの広告追加
（広告料収入の設置又は維持管理費に充当）

0.8m以下
2.5m以上
歩道

広告主への広告追加
（広告料収入の設置又は維持管理費に充当）

高さ
幅

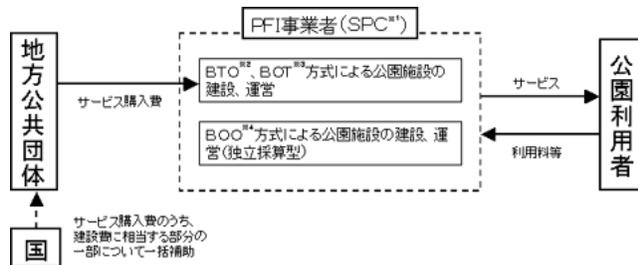
高さへの広告追加
（広告料収入の設置又は維持管理費に充当）

高さへの広告追加
（広告料収入の設置又は維持管理費に充当）



河川以外の民間活力を活かした取り組み【公園】

・都市公園におけるPFI事業



長井海の手公園整備等事業

- [1]事業期間:平成15年～12年間
- [2]公園面積:21.3ha
- [3]事業方式:レストラン・売店、加工体験棟、駐車場ほか(BOT方式、独立採算型)
園路・園地、管理棟、展望台ほか(BTO方式、サービス購入型)

「全国の水辺自慢写真集」の募集・公表

～河川的美しさを再認識し、魅力ある水辺づくりへの意識の醸成～

〇川や水辺の様々な**魅力や価値を再認識**するとともに、他の地域の水辺の風景に接することにより、**今後の水辺づくりを考えるきっかけ**となることを期待し、地域のシンボルとなっている「美しい水辺とまち」をテーマに風景写真を募集。

現在、国土交通省 水管理・国土保全局の廊下を全面的にギャラリーとして活用し、全写真を展示中



東京リバーサイドライフドリンクス

これらの行政の動きに呼応して、**民間の主導**により、水辺に関心の高い方たちが、水辺の将来について語り合いながら交流、連携を深める「東京リバーサイドライフドリンクス」が開催。

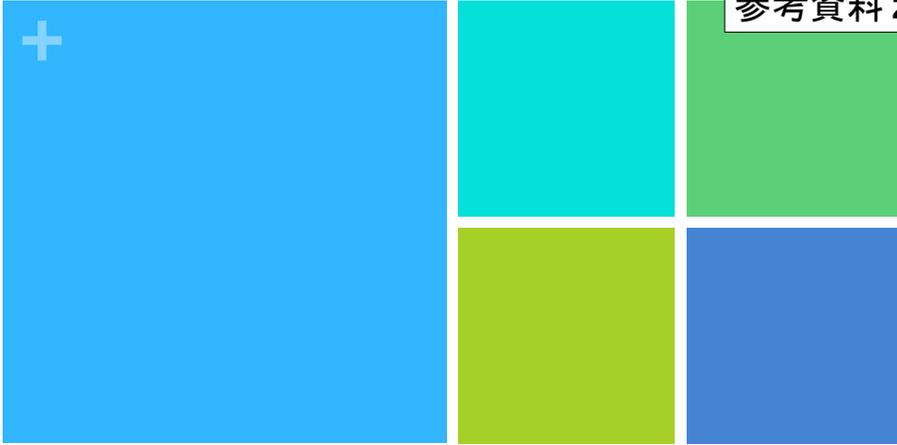


第1回(平成25年9月26日)



第2回(平成25年12月4日)

 水辺におけるビジネスチャンスの発掘や、水辺文化の発信源となっていくことを期待。



日本の水辺と世界の水辺

公益財団法人リバーフロント研究所

※本資料は平成25年12月27日開催の第1回水辺とまちのソーシャルデザイン懇談会で配布した参考資料です。

日本の水辺空間の歴史

我が国では、かつては、川や水辺
そのものが周辺のまちなみと融け
合って地域の代表的な顔を形成

江戸時代の歴史・文化・風土など于一体となった水辺空間

3



「東都名所 日本橋真景并二魚市全図」 歌川広重

日本橋とその下流北側に広がる魚市の賑わいの様子が詳しい。日本橋川を行き交う多くの舟と大勢の人々の姿が描かれ、魚河岸があった日本橋界隈の賑わい振りが伝わってくる。

江戸時代の歴史・文化・風土など于一体となった水辺空間

4



「四条河原夕涼」 歌川広重

四条河原は、現在の京都市東山区にあり、鴨川に架けられた祇園橋(四条大橋)の両側の河原の名称で、現在の7月頃、暑い盛りに床(川に張り出した板張りの涼み台)が設けられた。床は夏に仮設されるもので、供される料理は川魚料理が多かった。

江戸時代の歴史・文化・風土など于一体となった水辺空間

5



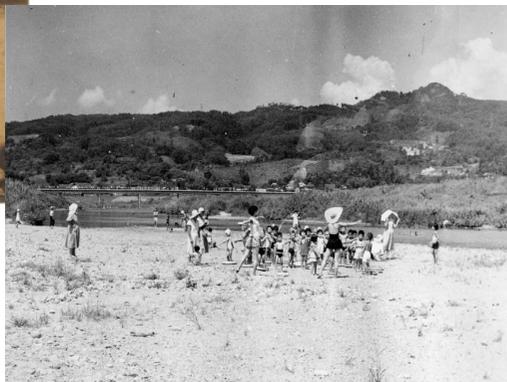
堀川花盛（ほりかわはなざかり）
（名古屋名所団扇絵集 市博物館所蔵）

うちわにかかれた花見の風景。満開の花の下で、川岸につくられた栈敷では、堀川を見おろしながら花を楽しんでいる。川にはたくさんの船がうかび、泳いでいる人もいる。橋のすりに寄りかかって、川と花をながめている人もいる。道ばたの店や屋台では食べ物を売っており、道におかれた長いすで食べながら一休みしている人もいる。この華やかな風景も、木が老木となって枯れていき、明治の頃には見られなくなった。

近代の生活空間と融合していた水辺空間



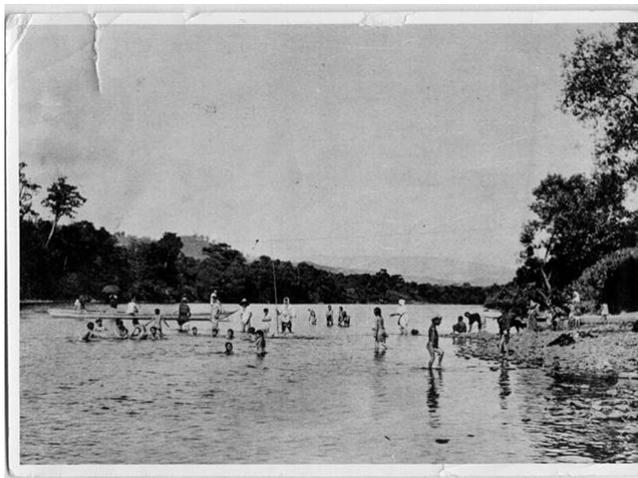
川内川／昭和初期



大和川(王寺町)／昭和30年頃

近代の生活空間と融合していた水辺空間

7



空知川(北海道)／大正時代

石狩川振興財団

近代の生活空間と融合していた水辺空間

8



コウノトリと人々が共生している様子（出石川／1960年）



洗濯などをする暮らしの場としての川の様子（瀬田川／1940年代）

経済発展とともに、水辺とまちの間に
隔たりが生じてしまった

まちとの間に隔たりが生じた水辺空間

11

- 効率的な治水整備により、三面張にされた河川。建物も河川から背を向けた（神田川）



まちとの間に隔たりが生じた水辺空間

12

- 効率的な治水整備により、三面張にされた河川。建物も河川から背を向けた（渋谷川）



まちとの間に隔たりが生じた水辺空間

13

- 1961年当時の隅田川（東京）は、“川というよりドブのようだ”、“メタンガスの泡がポコポコと音をたてて浮かび上がっていた”という状況となった。



まちとの間に隔たりが生じた水辺空間

14

- 1970年頃の多摩川（東京）は、水面に洗剤の泡が浮かび、あたりに異臭を放つなど河川環境は最悪の状態となった。



資料（国土交通省 京浜河川事務所）

まちとの間に隔たりが生じた水辺空間

15



スカム

1975年頃の綾瀬川
ゴミやスカム（浮きかす）が浮いていた

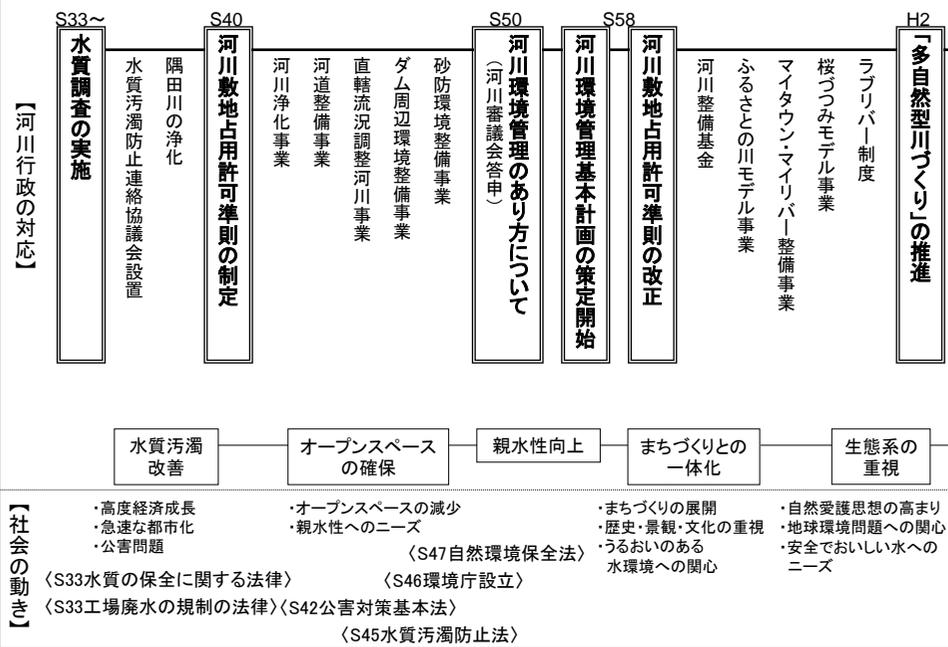


大量にゴミが投棄された河川

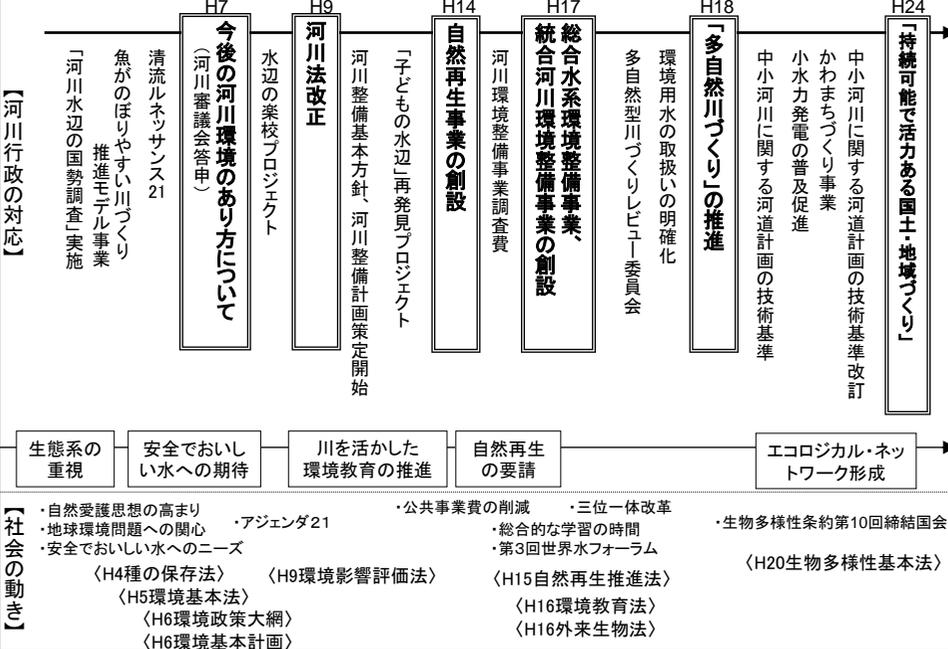
16

良好な水辺空間を取り戻すための
これまでの取組

河川環境施策の変遷①



河川環境施策の変遷②



多自然川づくりの取組

19

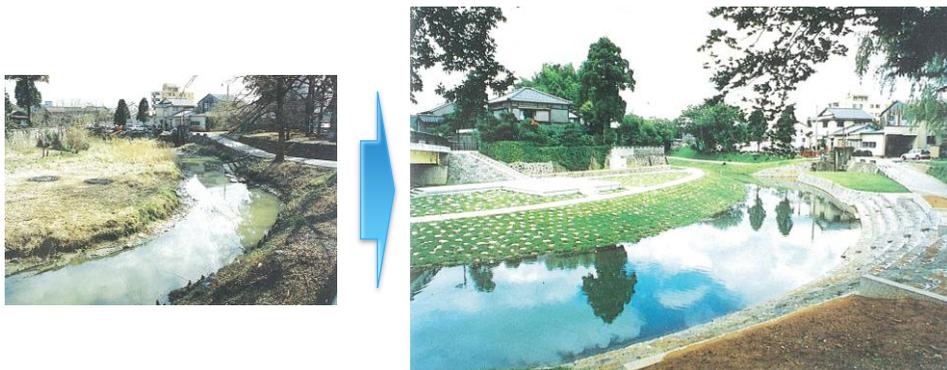
河川全体の自然の営みを視野に入れ、地域の暮らしや歴史・文化との調和にも配慮し、河川が本来有している生物の生息、生育、繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出



出典：多自然川づくりポイントブックⅢ 写真提供：島谷 幸宏

親水性の確保

20



歴史性に配慮した水辺の回廊として整備された水辺（石川県加賀市：大聖寺川）

水質浄化の取組

21

窒素・リン等の栄養塩類を多く含む底泥の浚渫



河川の直接浄化による汚濁負荷の削減



植生による自浄作用による水質浄化



歴史・文化に配慮したかわまちづくり

22

- 長井市には、最上川舟運の歴史・文化や名所名跡が存在、観光資源を地域活性化へ活用。
- 歴史的な観光資源をつなぐ散策路（フットパス）を整備して、周遊観光ルートを設定。

あやめ公園
日本一の規模を誇る



やませ蔵
舟運で栄えた商家跡



最上川河川緑地公園
花と水がテーマの公園



最上川堤防千本桜
最上川堤防の千本桜



凡例
 河川管理者整備 ————
 地域整備 ————
 既存ルート ————

子吉川（秋田県由利本荘市）癒しの川づくり 23

- 川の持つ安らぎ、癒しという潜在的な要素を福祉と医療に生かす目的で由利本荘市の芋川合流点对岸の河川空間に整備。
- 計画段階から河川管理者、市民と地元行政、医療機関、福祉関係者が連携し、子どもから高齢者まで利用できるユニバーサルデザインに基づいた川づくりが実施された。癒しの場として、入院患者の運動やリハビリ、市民の散歩、子どもたちの環境学習に利用されている。

施設概要

- ・高水敷整正約12ha、
緩傾斜堤防（張芝含む）
- ・坂路工1式、通路工1式、階段工10箇所、せせらぎ水路約600m

事業実施期間

1998～2003年度事業費：約5億円



車椅子でも水際まで散策可能

水辺とまちとの一体的整備 24

■ マイタウンマイリバー整備事業

大都市等の中心市街地及びその周辺部の河川のうち、改修が急務でありかつ良好な水辺空間の整備の必要性が高く、また周辺の市街化の状況等からみて、沿川における市街地の整備とあわせて河川改修を進めることが必要かつ効果的と考えられる河川について、水辺環境の向上に配慮した河川改修を行う事業。



堀川（名古屋市）



紫川（北九州市）

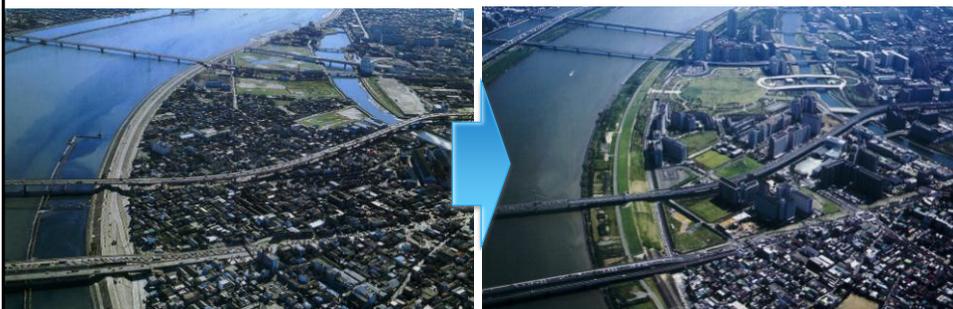
水辺とまちとの一体的整備

25

■スーパー堤防事例(荒川:小松川地区)

スーパー堤防はまちづくり整備との一体施工を基本としており、土地区画整理事業などのまちづくり側の事業や民間開発に合わせて共同事業化し、原則的に用地買収を行わず民地のまま整備を行います。

治水事業とまちづくりを同時に進めることで、機能性と安全性を兼ね備えた計画的なまちづくりが可能になります。また、一体化となって進めることにより、費用も軽減できます。



水辺とまちとの一体的整備

■スーパー堤防事例(荒川:小松川地区)



水辺とまちとの一体的整備

27

■スーパー堤防事例(隅田川:大川端地区)

- ・ 概要 石川島播磨重工業の工場跡地再開発にあわせてスーパー堤防を整備
- ・ 開発主体 住宅・都市整備公団、三井不動産、住宅局他
- ・ 整備年度 1981年～1990年
- ・ 主な建物 センチュリーパークタワー（756戸、54階）
スカイライトタワー（336戸、40階）
リバーポイントタワー（390戸、40階）
- ・ 地区面積 28.7ha
- ・ 整備延長 1,200m



28

まちづくりと一体となった
水辺整備が一部では進んでいるものの
「賢い利用」という視点が欠落

河川の合流点

直立護岸が水辺とまちの融合を妨げている

29



都市の威容を備え、河畔空間が整備されるも、水辺にかつての賑わいはみられない

30



水辺に近づけず、
まちと切り離された空間となっている

31



32

民間活力を活用するための現行制度

河川の利用（占用）について

33

- ・基本的に河川は公共用物であり自由に利用できる。
- ・排他的・継続的に使用するなど、自由使用の範囲を超える場合は、河川管理者の許可を受けなければならない（河川法24条）。
- ・工作物を新築、改築、除去する場合は、河川管理者の許可を受けなければならない（河川法26条）

1965 河川敷地占用許可準則の制定

- ・基本方針：原則、**占用は認めるべきではない**。社会経済上必要やむを得ず許可する場合は、治水・利水上支障を生じない場合等の要件を満たすことが必要。
- ・公共用地につき営業不可。

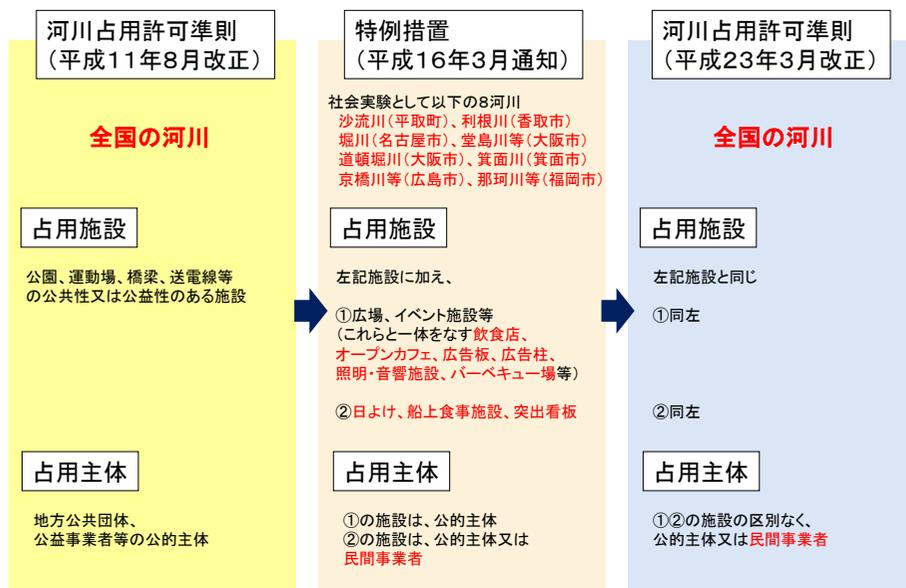
1999 河川敷地占用許可準則の改正

- ・「**包括占用の特例**」が追加
地元市町村が地先の河川敷地の利用について主体的に判断することができるようにするための制度。治水上、環境の保全上等の河川管理上の支障が生じるおそれが少ない河川敷地について、河川敷地の具体的利用方法を占用の許可後に当該市町村等が決定できる。

2011 河川敷地占用許可準則の一部改正

- ・「**都市及び地域の再生等のために利用する施設に係る占用の特例**」が追加
地域の合意等を条件として、営業活動を行う事業者等による河川敷地の利用が可能となった。

河川敷地占用許可の流れ



河川敷地占用許可準則の緩和

従前

- ・ 占用可能な施設及び主体
→ 公共性又は公益性のある施設(公園等)及び主体(地方公共団体等)に限定

特例措置(社会実験)

- ・ 2004年3月より、民間事業者による河川敷地での営利活動を可能にする規制緩和を社会実験(特例措置)として実施。
- ・ 道頓堀川(大阪市)、京橋川等(広島県)等の8区域で限定的に実施。



道頓堀川(大阪市)

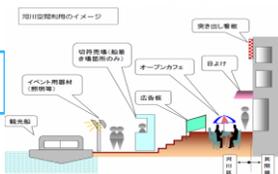


京橋川(広島県)

一部改正

- 2011年3月より
- ・ 地方公共団体の地域活性化施策の発意により
- ・ 協議会等の活用などにより、地方公共団体が地域の合意を図った上で、
- ・ 区域、占用方針(施設・許可方針)、占用主体を予め河川管理者が指定すれば

- ・ 民間事業者による河川敷地の占用が可能!
- ・ イベント施設やオープンカフェ等の設置が可能!



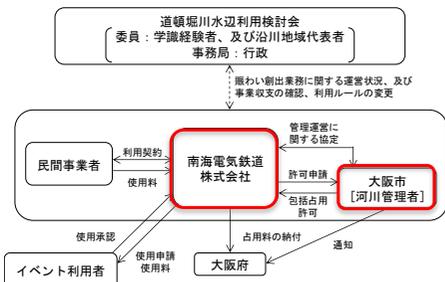
包括占用の事例(大阪市: 道頓堀川)

- 2011年の準則の一部改正に基づき、占用主体を公募により募集。
- 民間事業者の南海電鉄が3年間占用主体となり、遊歩道の管理運営を実施することとなった。



「道頓堀川遊歩道の管理運営業務委託」基本協定

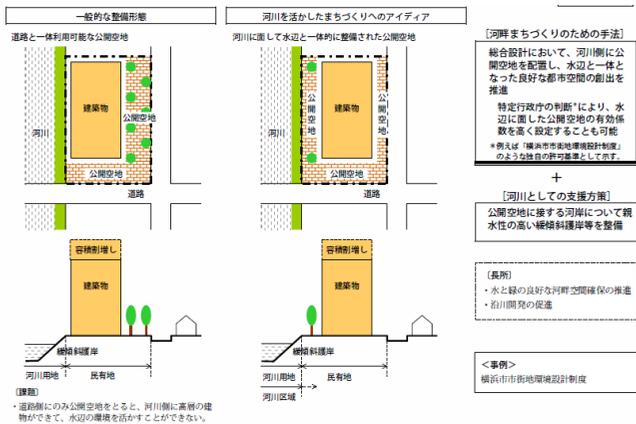
- 期間: 2012.4.1~2015.3.31
- 内容: 1. 賑わいの創出に関する業務
- (1) イベント実施・誘致、オープンカフェ、広告事業ならびにロケ等の誘致
 - (2) 関係機関・地域との調整
 - (3) 「利用案内」等の作成、利用の案内・受付等
2. 維持管理業務
- (1) 現場管理
 - (2) 清掃・除草
 - (3) 警備巡視
3. その他業務
- (1) 検討会
 - (2) 河川占用許可申請事務・流水占用料等の納付
 - (3) 地域活性化への貢献事業



河川以外の制度の活用

● 総合設計制度

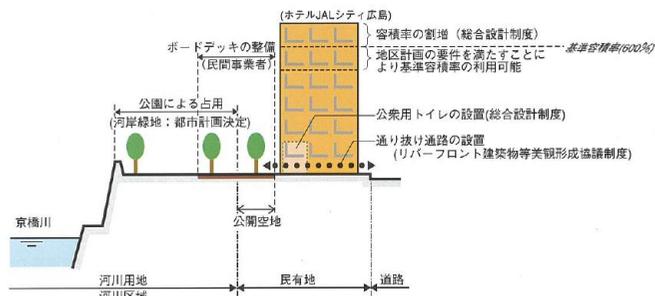
- ・ 建築基準法にて規定されている。
- ・ 500m²以上の敷地で敷地内に一定割合以上の空地を有する建築物について、計画を総合的に判断して、敷地内に歩行者が日常自由に通行又は利用できる空地（公開空地）を設けるなどにより、市街地の環境の整備改善に資すると認められる場合に、特定行政庁の許可により、容積率制限や斜線制限、絶対高さ制限を緩和。



活用イメージ（出典：河川を活かしたまちづくりに関する検討～中間とりまとめ～（2001））

総合設計制度の活用（広島市：京橋川）

- 河岸緑地に面して公開空地を設置したことなどにより、容積率が割増された。



国内の水辺活用事例

東京都台東区（隅田川） ～都内初の民間占用～

41

- 東京スカイツリーを臨む絶好のビューポイントである台東区立隅田公園内に、水辺空間を活用したオープンカフェを出店する事業者を公募。
- 河川敷地に民間事業者が出店するのは、河川敷地占用許可準則の改正により可能になったもので、都内初の事業。



カフェ設置前



二天門防災船着場



カフェ設置後

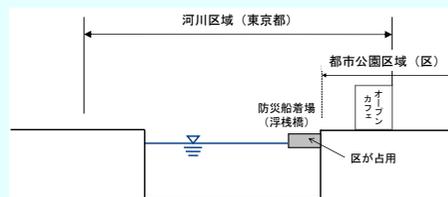


東京都台東区（隅田川）

42

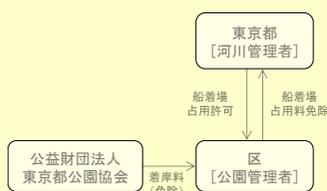
●空間構成（断面構成）

- ・施設設置場所：河川区域および都市公園区域
- ・施設内容：防災船着場（浮桟橋）、オープンカフェ
- ・河川占用料：船着場は免除
オープンカフェは年額9,054円/m²
- ・公園占用料：日額37円/m²

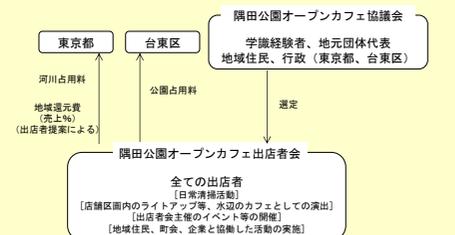


●事業スキーム

◆防災船着場（浮桟橋）



◆オープンカフェ



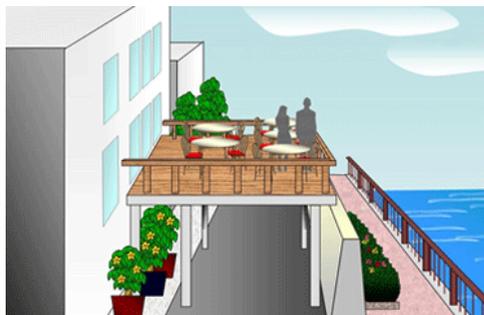
※占用料は一般会計として処理される

隅田川で「川床」“かわてらす”の社会実験 (東京都建設局)

43

- 水辺の更なる魅力向上と地域の活性化を目的に、隅田川堤防の管理用通路を活用して、飲食店の営業を行う“かわてらす”社会実験を実施。

- ・実験期間：平成25年7月2日から平成28年3月末（かわてらす設置のための一時占用許可期間はこのうち2年以内）
- ・対象区間：隅田川右岸の吾妻橋から蔵橋下流までの区間（約1km）及び蔵前橋下流から神田川合流部までの区間（約0.5km）
- ・対象店舗：河川区域に隣接し、実験期間中に営業している飲食店、又は、営業を予定している飲食店。
（店内に客席を設けて飲食物の提供を行っている店舗）



“かわてらす”の設置イメージ
東京都HPより



東京スカイツリーと隅田川
東京都HPより

愛知県名古屋市（堀川）

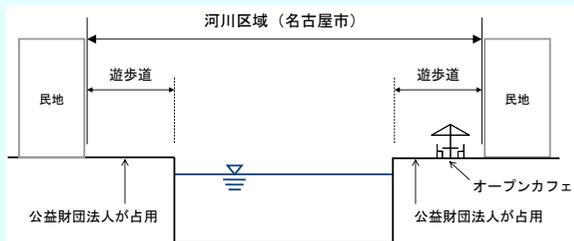
～財団による占用～



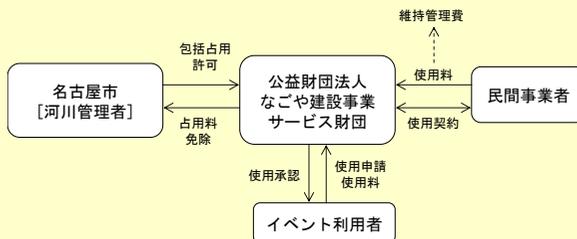
愛知県名古屋市（堀川）

●空間構成（断面構成）

- ・施設設置場所：河川区域
- ・施設内容：オープンカフェ
- ・河川占用料は無し（使用料のみ徴収）



●事業スキーム



※占用料は一般会計として処理される

大阪府大阪市（土佐堀川） ～協議会による包括占用～

北浜テラス設置の歩み

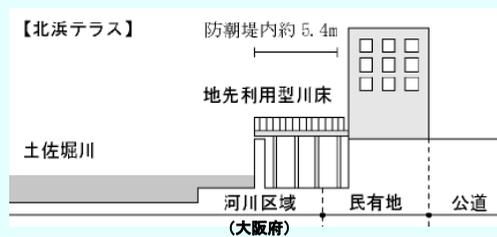
- 2008.10 川床社会実験実施（1ヶ月）2000人以上の来客
- 2009.1 河川敷地占用許可準則の特例措置 改正
（占用施設に「川床」等を追加）
- 2009.5 川床社会実験実施（3ヶ月）
- 2009.7 北浜水辺協議会設立
- 2009.11 北浜水辺協議会が河川敷の包括的占用者に認可される
（民間の任意団体として全国初）
常設型川床として3店舗開業
- 2013.4 川床9店舗



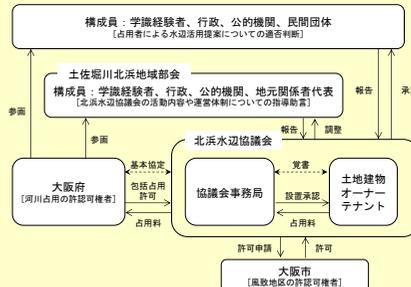
大阪府大阪市（土佐堀川）

●空間構成（断面構成）

- ・施設設置場所：河川区域
- ・施設内容：川床



●事業スキーム



大阪府大阪市（道頓堀川） ～鉄道事業者による包括占用～



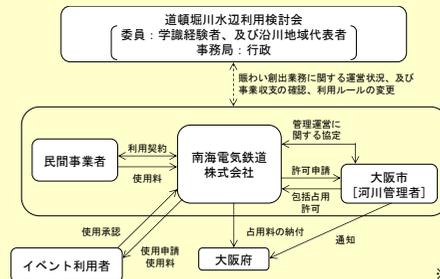
大阪府大阪市（道頓堀川）

●空間構成（断面構成）

- ・施設設置場所：河川区域
- ・施設内容：棧橋



●事業スキーム



※占用料は一般会計として処理される

広島県広島市（京橋川・元安川） ～協議会による占用～ 51

- 京橋川や元安川の河岸緑地において、水辺に新たな魅力を創り出すため、民間のノウハウや活力を導入した「水辺のオープンカフェ」を実施。
- 京橋川沿いの河岸緑地では7店舗、元安川沿いで1店舗が営業中であり、多くの市民や来訪者に憩いの場、交流の場を提供するとともに、うるおいと安らぎを感じる風景を創出。
- 2005年10月に開業した京橋川オープンカフェ（独立店舗型）は、河川空間で民間事業者による常設店舗を設置した全国初の取り組み。
- 隣接民有地内の店舗が河岸緑地を一体的に空間利用する「地先利用型」と河岸緑地に新たに店舗そのものを設置する「独立店舗型」の2形態がある。



京橋川のオープンカフェ（地先利用型）

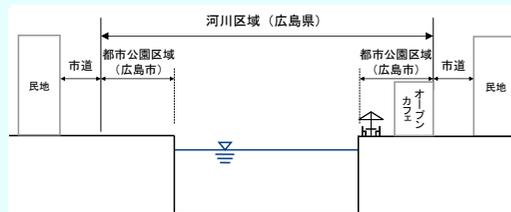


京橋川のオープンカフェ（独立店舗型）

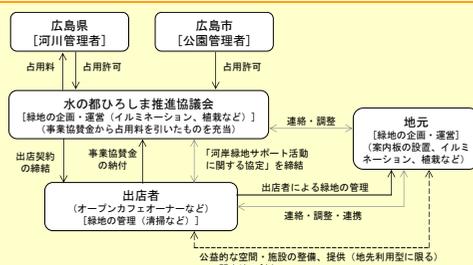
広島県広島市（京橋川・元安川） 52

●空間構成（断面構成）

- ・施設設置場所：河川区域および都市公園区域
- ・施設内容：オープンカフェ
- ・事業協賛金：
 - 【京橋川】
 - 地先利用型 2,610円/m²・年
(うち河川占用料210円/m²・年)
 - 独立店舗型 13,090円/m²・年
(うち河川占用料2,400円/m²・年)



●事業スキーム

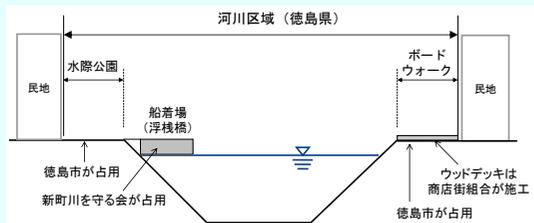


※占用料は一般会計として処理される

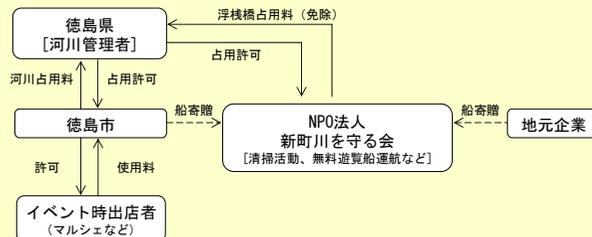


●空間構成（断面構成）

- ・施設設置場所：河川区域
- ・施設内容：船着場（浮棧橋）、マルシェ

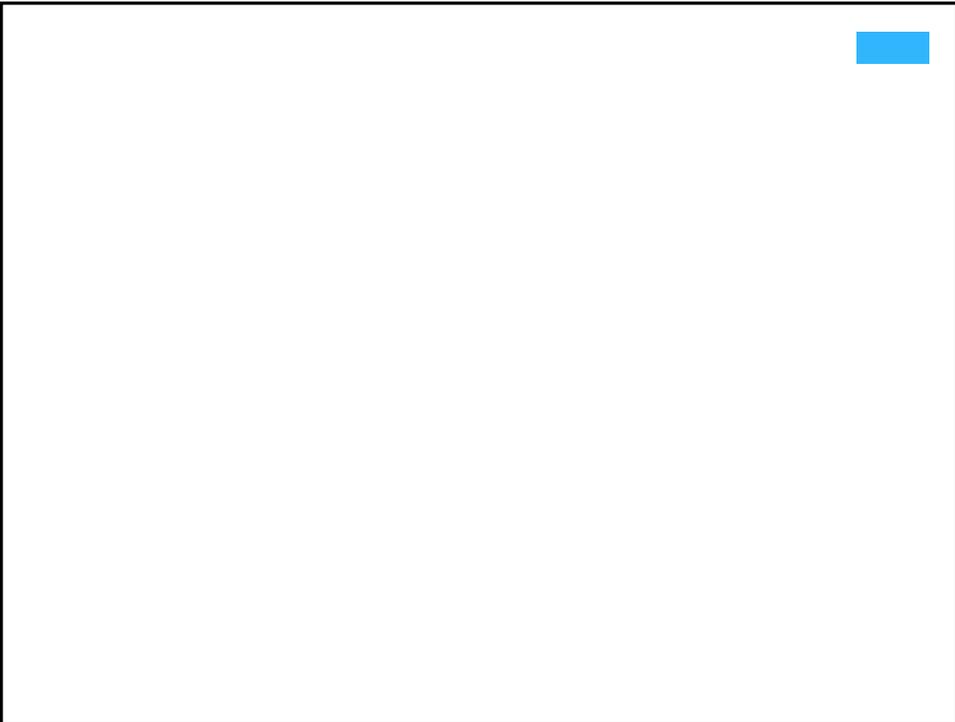


●事業スキーム



※占用料は一般会計として処理される

海外の水辺活用事例



フランス・パリ（セーヌ川）：パリプラーージュ

57

- 夏のバカンスシーズンに高速道路の通行を止め、人工的なビーチを造成し市民に開放

開催期間：夏季1ヶ月間
 (2013年7月20日～8月18日)
 来客者数：23万人（2013年実績）



普段の高速道路の様子



パリプラーージュの様子

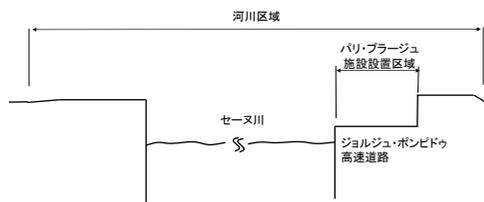
(著作権者：slasher-fun、ライセンス：Cc-by-sa-3.0)

フランス・パリ（セーヌ川）：パリプラーージュ

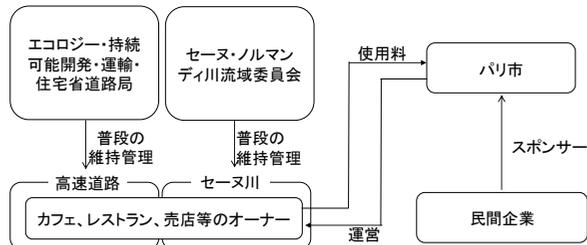
58

●空間構成（断面構成）

- 施設設置場所：河川区域内の高速道路（セーヌ川右岸）
- 施設内容：ヤシの木、ビーチパラソル、ビーチチェア、屋外のクライミング壁、屋外のカフェ、軽食スタンド、レンタル自転車、人工の砂浜、砂浜や水面を使ったカヌー、手漕ぎボート、水上レストランなど。
- 入場料は無料（カフェ、レストラン、売店、アトラクション使用料等は別）



●事業スキーム



デンマーク・コペンハーゲン（ニューハウ運河）

59

- ニューハウ（新たな港を意味する）沿いは、期間限定の歩行者天国とすることでカフェ・レストランやアンティークショップが軒を連ね、多くの観光客が来訪している。オープンカフェ設置基準で利用範囲等を規定している。

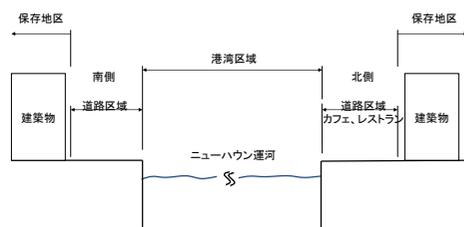


デンマーク・コペンハーゲン（ニューハウ運河）

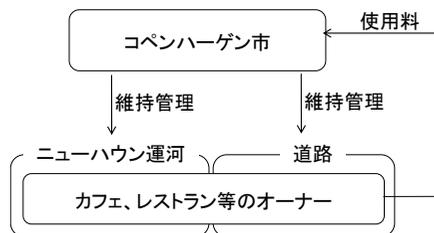
60

●空間構成（断面構成）

- ・施設設置場所：道路区域（ストロイエ：歩行者天国）
- ・施設内容：カフェ、レストラン（北側）
- ・コペンハーゲンのストロイエ（歩行者天国）でカフェ、売店等が市に払う使用料は平均3,900円/月・m2



●事業スキーム



アメリカ・サンアントニオ（サンアントニオ川）

61

- サン・アントニオ川の蛇行部を直線化し、水門で区切って洪水対策を施し、残された蛇行部（グレートベント）にリバーウォークを整備し、囲まれたエリアにホテル・コンベンションセンター・複合施設を建設して、全米屈指の観光都市に発展。（観光客数は約1千万人/年）

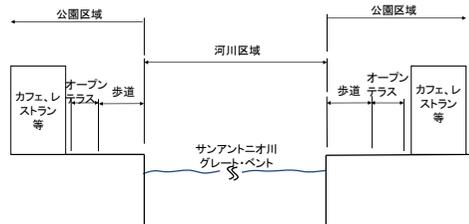


アメリカ・サンアントニオ（サンアントニオ川）

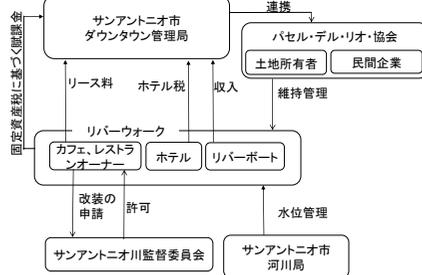
62

●空間構成（断面構成）

- 施設設置場所：公園区域
- 施設内容：
 - オープンテラスを設置したカフェ・レストラン
 - 普通のカフェ・レストラン（オープンテラス無し）
 - 観光者用施設
 - ホテル
 - リバーボート等



●事業スキーム



オランダ・アムステルダム（アイ湖）

63

- アムステルダム市街地の東側にあるアイ湖を埋め立てた人工島上に都市を建設
- アイ湖全体の水量を変化させないために、一部で水上住居（フローティングハウス）や堤防住居（ダイクハウス）を建設。



水上住居（フローティングハウス）



堤防住居（ダイクハウス）

オランダ・アムステルダム（アイ湖）

64

●空間構成（断面構成）

- ・施設設置場所：都市計画区域（アイ湖内の埋立地等）
- ・施設内容：
 - 一般住宅（9,000戸）
 - 水上住居（フローティングハウス：165戸）
 - 堤防住居（ダイクハウス：7戸）
- ・河川占用料は無し

◆水上住居（フローティングハウス）

フローティングハウスは、水底に固定された柱に繋留され移動できないようになっている。水底に柱を固定することで、法律上、一般の不動産として扱われ、購入者が住宅ローンを組むことができる。



◆堤防住居（ダイクハウス）

●事業スキーム

